

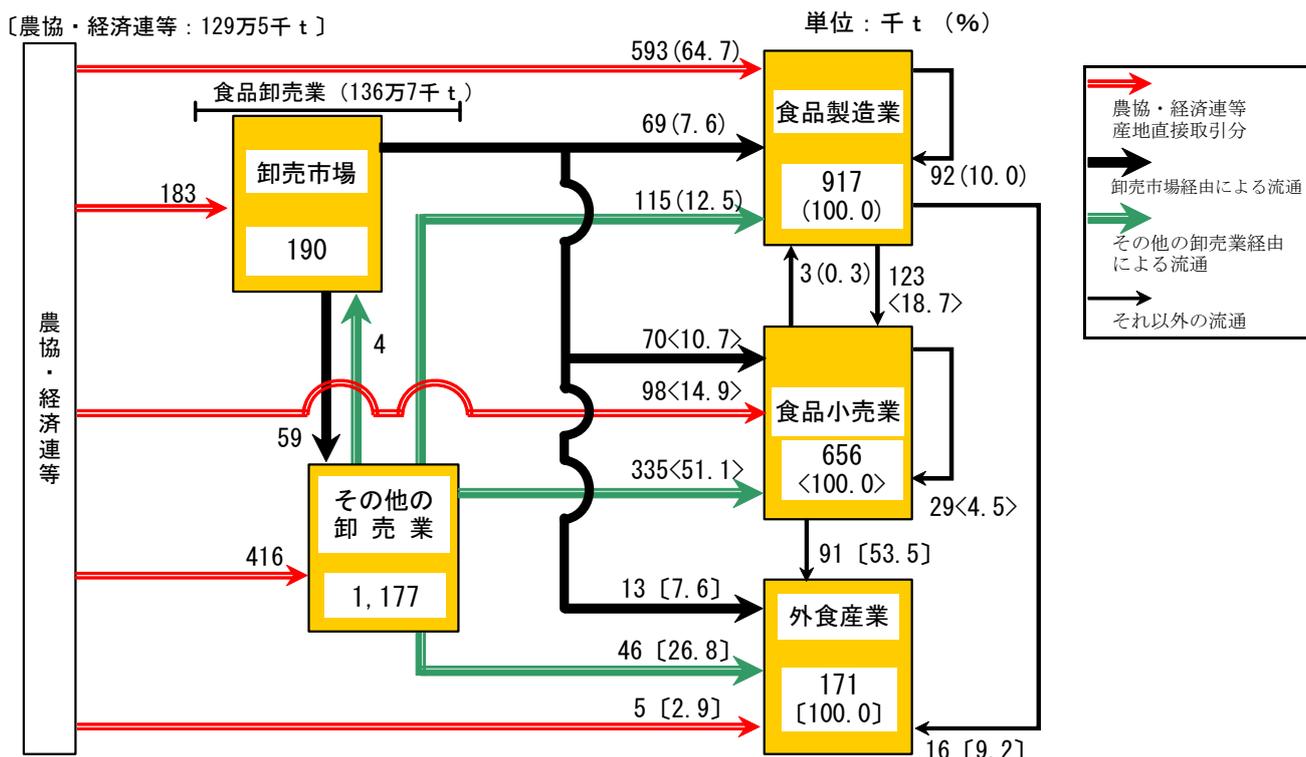
I 調査結果の概要

1 国内産豚肉の仕入状況

平成16年度の食品産業における仕入量（枝肉、部分肉及び精肉の延べ仕入量、以下同じ。）は、食品卸売業（卸売市場及びその他の卸売業）が136万7千t、食品製造業が91万7千t、食品小売業が65万6千t、外食産業が17万1千tであった。

仕入先別仕入量割合をみると、食品製造業では農協・経済連等（生産者を含む、以下同じ。）からが64.7%と最も高くなっており、食品小売業ではその他の卸売業からが51.1%、外食産業では食品小売業からが53.5%とそれぞれ最も高くなっている。

図1 国内産豚肉の主な流通経路別仕入量

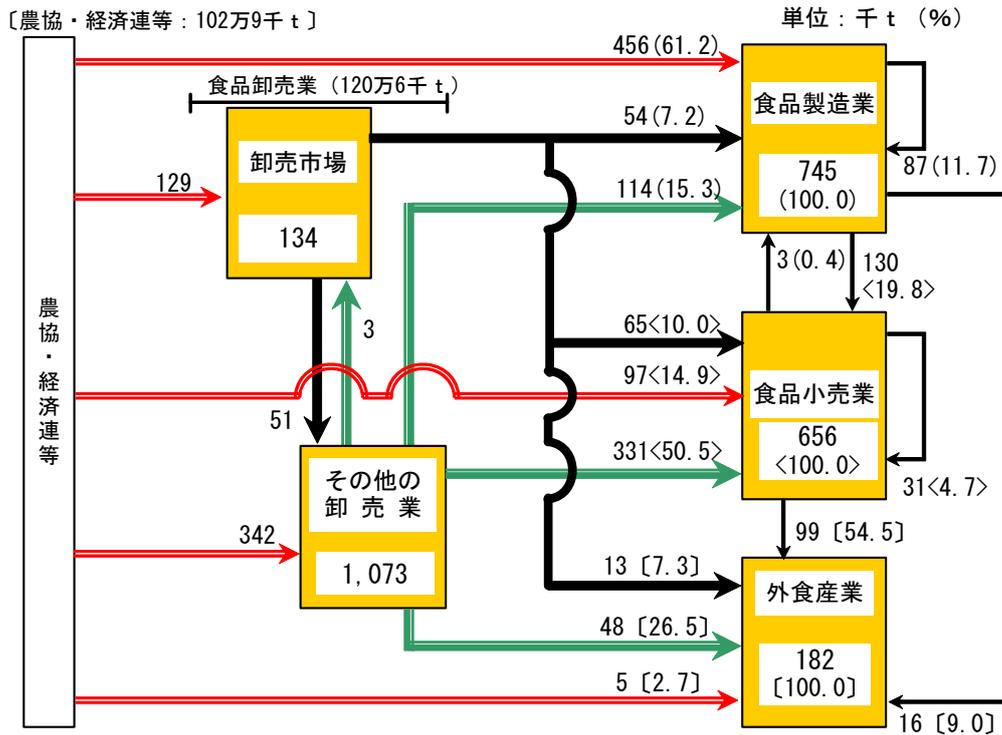


- 注：1 仕入量は、実際に仕入を行った形態（枝肉、部分肉、精肉）での実重量をそのまま積み上げて推定したものである。（参考として、部分肉換算した仕入量等を次ページに掲載した。）
- 2 黄色い箱内の数値は、卸売市場、その他の卸売業、食品製造業、食品小売業及び外食産業における同業種間の流通を含む延べ仕入量であり、自社肥育したものを含む。また、括弧内は仕入量（延べ仕入量）に対する割合である。
- 3 卸売市場の数値は、卸売市場内の卸売業者が仕入れた延べ仕入量である。
- 4 業種別の仕入先・規模を調査・推定したものであること及び食品卸売業の各業種には、製造（加工）を行う事業所、消費者へ直接販売する事業所等が含まれていることから、食品卸売業の各業種の仕入量と他の業種が食品卸売業の各業種から仕入れた量の合計とは一致しない。
- 5 この結果には直接消費者へ流通するもの等は含んでいない。

表1 国内産豚肉の業種別仕入量及び仕入先別仕入量割合

	仕入量	仕入先別仕入量割合（仕入量を100とした割合）							
		計	農協・ 経済連等	食品卸売業			食品製造業	食品小売業	自社肥育
				卸売市場	その他の卸売業				
	千 t								
食品製造業	917	100.0	64.7	20.1	7.6	12.5	10.0	0.3	4.9
食品卸売業	1 367	100.0	43.8	37.6	4.6	33.0	18.4	0.2	-
食品小売業	656	100.0	14.9	61.8	10.7	51.1	18.7	4.5	0.1
外食産業	171	100.0	2.9	34.4	7.6	26.8	9.2	53.5	-

《参考》国内産豚肉の主な流通経路別仕入量（部分肉換算）



《参考》国内産豚肉の業種別仕入量及び仕入先別仕入量割合（部分肉換算）

単位：％

	仕入量	計	仕入先別仕入量割合（仕入量を100とした割合）						
			農協・ 経済連等	食品 卸売業	卸売市場	その他の 卸売業	食品 製造業	食品 小売業	自社肥育
	千t								
食品製造業	745	100.0	61.2	22.5	7.2	15.3	11.7	0.4	4.2
食品卸売業	1 206	100.0	39.0	40.3	4.4	35.9	20.4	0.2	-
食品小売業	656	100.0	14.9	60.5	10.0	50.5	19.8	4.7	0.0
外食産業	182	100.0	2.7	33.8	7.3	26.5	9.0	54.5	-

【部分肉換算について】

本報告書では、国内に流通している畜産物の総流通量を明らかにするために、調査客体が実際に仕入れを行った形態（枝肉、部分肉及び精肉）での実重量をそのまま積み上げて推定している。

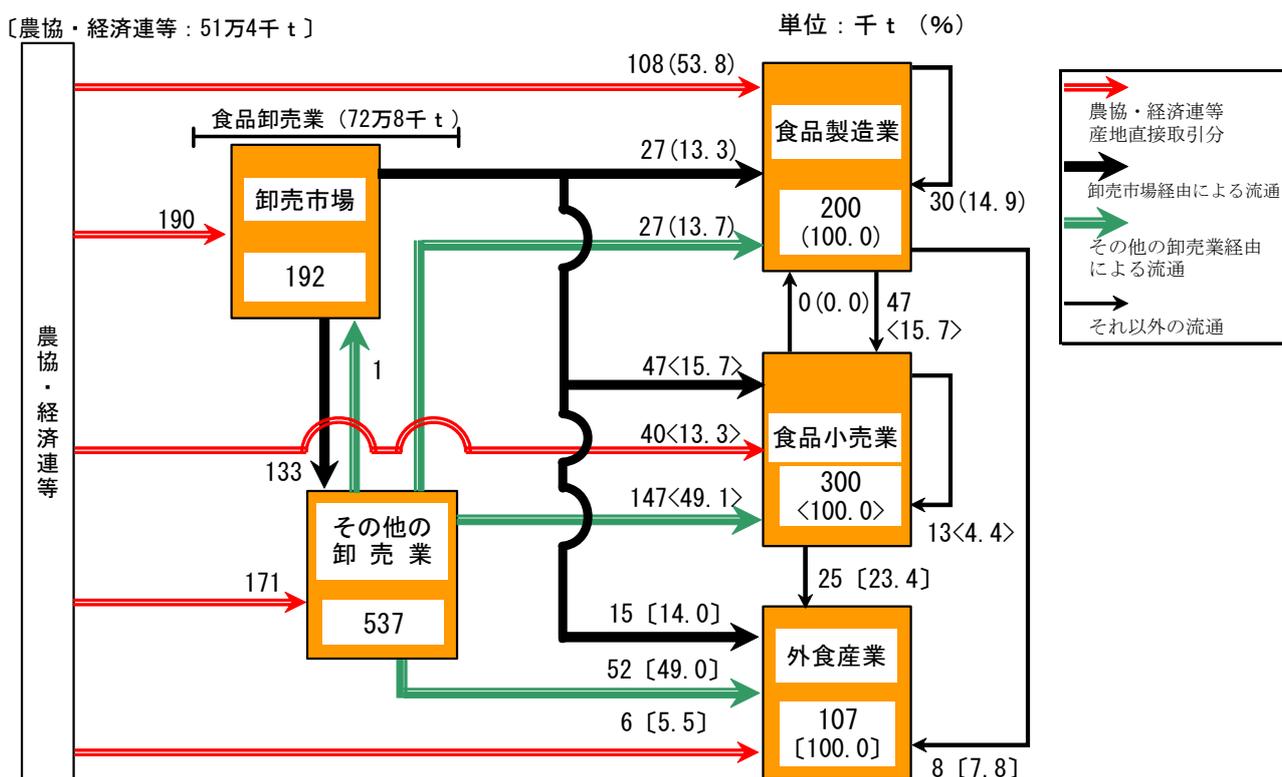
これとは別に、国内産と輸入の仕入量を比較する場合等、特定の区分間で仕入量を比較する場合には、形態を統一した仕入量が必要であることから、①仕入形状別仕入量割合を基に形状別仕入量（枝肉、部分肉及び精肉の仕入量）を算出し、②枝肉においては枝肉から部分肉の歩留まり率70%、精肉においては部分肉から精肉の歩留まり率90%を用いて部分肉に換算した結果を掲載した。

2 国内産牛肉の仕入状況

平成16年度の食品産業における仕入量は、食品卸売業（卸売市場及びその他の卸売業）が72万8千t、食品製造業が20万t、食品小売業が30万t、外食産業が10万7千tであった。

仕入先別仕入量割合をみると、食品製造業では農協・経済連等からが53.8%と最も高くなっており、食品小売業及び外食産業ではその他の卸売業からが49.1%、49.0%とそれぞれ最も高くなっている。

図2 国内産牛肉の主な流通経路別仕入量



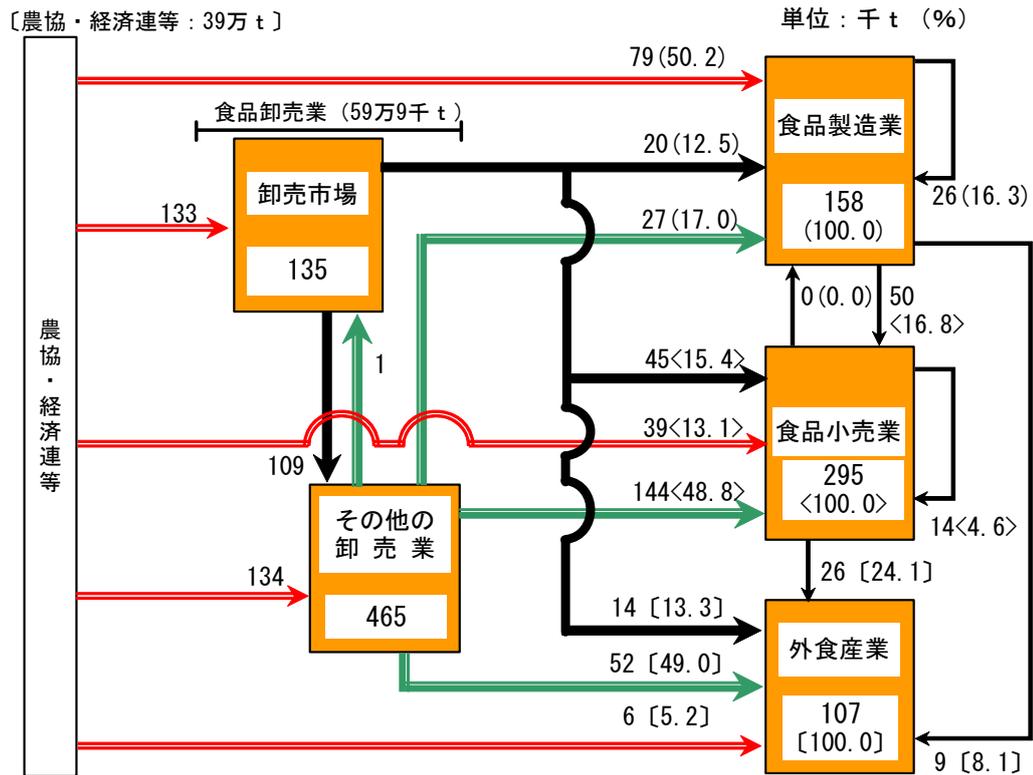
- 注：1 仕入量は、実際に仕入を行った形態（枝肉、部分肉、精肉）での実重量をそのまま積み上げて推定したものである。（参考として、部分肉換算した仕入量等を次ページに掲載した。）
- 2 箱内の数値は、卸売市場、その他の卸売業、食品製造業、食品小売業及び外食産業における同業種間の流通を含む延べ仕入量であり、自社肥育したものを含む。また、括弧内は仕入量（延べ仕入量）に対する割合である。
- 3 卸売市場の数値は、卸売市場内の卸売業者が仕入れた延べ仕入量である。
- 4 業種別の仕入先・規模を調査・推定したものであること及び食品卸売業の各業種には、製造（加工）を行う事業所、消費者へ直接販売する事業所等が含まれていることから、食品卸売業の各業種の仕入量と他の業種が食品卸売業の各業種から仕入れた量の合計とは一致しない。
- 5 この結果には直接消費者へ流通するもの等は含んでいない。

表2 国内産牛肉の業種別仕入量及び仕入先別仕入量割合

単位：%

	仕入量	計	仕入先別仕入量割合（仕入量を100とした割合）						
			農協・経済連等	食品卸売業	卸売市場	その他の卸売業	食品製造業	食品小売業	自社肥育
	千t								
食品製造業	200	100.0	53.8	26.9	13.3	13.7	14.9	0.0	4.4
食品卸売業	728	100.0	49.5	40.2	18.3	21.8	10.0	0.2	0.1
食品小売業	300	100.0	13.3	64.8	15.7	49.1	15.7	4.4	1.9
外食産業	107	100.0	5.5	63.0	14.0	49.0	7.8	23.4	0.4

《参考》国内産牛肉の主な流通経路別仕入量（部分肉換算）



《参考》国内産牛肉の業種別仕入量及び仕入先別仕入量割合（部分肉換算）

単位：％

	仕入量	計	仕入先別仕入量割合（仕入量を100とした割合）						
			農協・経済連等	食品卸売業	卸売市場	その他の卸売業	食品製造業	食品小売業	自社肥育
	千t								
食品製造業	158	100.0	50.2	29.5	12.5	17.0	16.3	0.0	3.9
食品卸売業	599	100.0	44.5	44.3	18.2	26.1	10.9	0.2	0.1
食品小売業	295	100.0	13.1	64.2	15.4	48.8	16.8	4.6	1.3
外食産業	107	100.0	5.2	62.3	13.3	49.0	8.1	24.1	0.3

【部分肉換算について】

本報告書では、国内に流通している畜産物の総流通量を明らかにするために、調査客体が実際に仕入れを行った形態（枝肉、部分肉及び精肉）での実重量をそのまま積み上げて推定している。

これとは別に、国内産と輸入の仕入量を比較する場合等、特定の区分間で仕入量を比較する場合には、形態を統一した仕入量が必要であることから、①仕入形状別仕入量割合を基に形状別仕入量（枝肉、部分肉及び精肉の仕入量）を算出し、②枝肉においては枝肉から部分肉の歩留まり率70%、精肉においては部分肉から精肉の歩留まり率90%を用いて部分肉に換算した結果を掲載した。

3 輸入豚肉及び牛肉の仕入状況

平成16年度の食品産業における輸入豚肉の仕入量は、食品卸売業（輸入商社及びその他の卸売業）が121万5千t、食品製造業が57万6千t、食品小売業が11万5千t、外食産業が8万5千tであった。

また、輸入牛肉の仕入量は、食品卸売業が72万2千t、食品製造業が18万t、食品小売業が10万t、外食産業が8万8千tであった。

表3 輸入豚肉及び牛肉の業種別仕入量及び仕入先別仕入量割合

単位：％

業 種	仕 入 量	計	仕入先別仕入量割合（仕入量を100とした割合）						
			自社直接 輸 入	食 品 卸売業	輸入商社	その他の 卸 売 業	食 品 製造業	食 品 小売業	
	千 t								
豚 肉	食 品 製 造 業	576	100.0	8.3	63.4	42.1	21.3	27.0	1.3
	食 品 卸 売 業	1 215	100.0	35.7	62.2	34.0	28.3	2.1	0.0
	食 品 小 売 業	115	100.0	8.1	76.1	18.4	57.7	13.5	2.3
	外 食 産 業	85	100.0	3.1	50.0	4.4	45.6	23.6	23.2
牛 肉	食 品 製 造 業	180	100.0	7.1	59.8	42.4	17.4	31.6	1.5
	食 品 卸 売 業	722	100.0	55.6	40.9	20.9	20.0	3.4	0.0
	食 品 小 売 業	100	100.0	8.0	71.5	9.0	62.5	18.5	1.9
	外 食 産 業	88	100.0	1.8	67.1	4.5	62.6	12.6	18.4

《参考》 輸入豚肉及び牛肉の業種別仕入量及び仕入先別仕入量割合（部分肉換算）

単位：％

業 種	仕 入 量	計	仕入先別仕入量割合（仕入量を100とした割合）						
			自社直接 輸 入	食 品 卸売業	輸入商社	その他の 卸 売 業	食 品 製造業	食 品 小売業	
	千 t								
豚 肉	食 品 製 造 業	582	100.0	8.6	63.2	42.0	21.2	27.0	1.3
	食 品 卸 売 業	1 212	100.0	35.9	62.0	34.1	27.9	2.1	0.0
	食 品 小 売 業	116	100.0	8.0	75.7	18.1	57.6	13.8	2.4
	外 食 産 業	90	100.0	3.0	49.7	4.3	45.4	23.8	23.4
牛 肉	食 品 製 造 業	186	100.0	6.9	59.1	41.9	17.2	32.6	1.4
	食 品 卸 売 業	724	100.0	55.6	41.0	20.9	20.0	3.4	0.0
	食 品 小 売 業	102	100.0	8.0	71.1	8.9	62.2	18.9	2.0
	外 食 産 業	91	100.0	1.8	65.8	4.5	61.3	13.3	19.0

注： 本報告書では、国内に流通している畜産物の総流通量を明らかにするために、調査客体が実際に仕入れを行った形態（枝肉、部分肉及び精肉）での実重量をそのまま積み上げて推定している。

これとは別に、国内産と輸入の仕入量を比較する場合等、特定の区分間で仕入量を比較する場合には、形態を統一した仕入量が必要であることから、①仕入形状別仕入量割合を基に形状別仕入量（枝肉、部分肉及び精肉の仕入量）を算出し、②枝肉においては枝肉から部分肉の歩留まり率70%、精肉においては部分肉から精肉の歩留まり率90%を用いて部分肉に換算した結果を掲載した。

4 食品製造業における畜産物の業種小分類別仕入量及び仕入量割合

(1) 豚肉

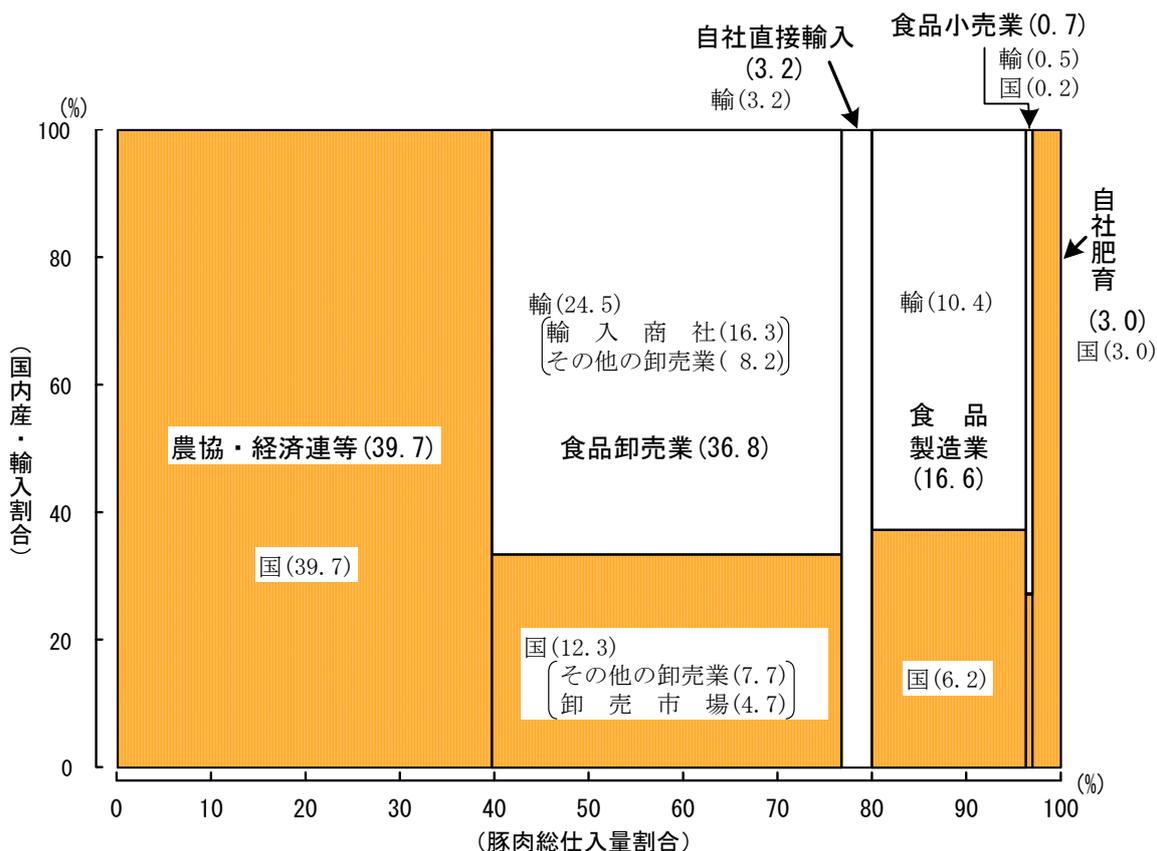
ア 食品製造業における豚肉の仕入量は149万3千tで、国内産が91万7千t、輸入が57万6千tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、農協・経済連等からの仕入れが仕入量全体の39.7%と最も高く、次いで食品卸売業からが36.8%（国内産12.3%、輸入24.5%）、食品製造業からが16.6%（国内産6.2%、輸入10.4%）となっている。

また、仕入量全体の61.4%を占める国内産についてみると、農協・経済連等からの仕入れが仕入量全体の39.7%と最も高く、次いでその他の卸売業からが7.7%、同業種である食品製造業からが6.2%となっている。

一方、輸入についてみると、輸入商社からの仕入れが仕入量全体の16.3%と最も高くなっている。

図3 食品製造業における豚肉の仕入先別仕入量割合



注：1 () 内は、食品製造業の豚肉総仕入量（国内産+輸入）に対する割合である。

2 図表中、「国」は国内産、「輸」は輸入のことである。

イ 食品製造業における業種（業種小分類）別の仕入先別仕入量割合をみると、豚肉仕入量の94.1%を占める畜産食料品製造業においては、国内産は農協・経済連等からの仕入れが仕入量全体の42.1%と最も高く、次いでその他の卸売業からが6.9%となっている。また、輸入は輸入商社からの仕入れが仕入量全体の17.0%と最も高く、次いで同業種の食品製造業からが10.1%となっている。

一方、冷凍調理食品製造業においては、国内産は同業種である食品製造業からの仕入れが仕入量全体の53.9%と最も高く、次いでその他の卸売業からが21.6%となっている。また、輸入は自社直接輸入による仕入れが仕入量全体の7.5%と最も高くなっている。

表4 食品製造業における豚肉の業種（業種小分類）別仕入量及び仕入先別仕入量割合

単位：%

業種	仕入量	仕入先別仕入量割合（仕入量を100とした割合）									
		計	農協・ 経済連等	食品 卸売業	卸売市場	その他の 卸売業	輸入商社	自社直接 輸入	食品 製造業	食品 小売業	自社肥育
	千t										
食品製造業計	1 493 (100.0)	100.0	39.7	36.8	…	15.9	…	3.2	16.6	0.7	3.0
国内産	917	61.4	39.7	12.3	4.7	7.7	…	-	6.2	0.2	3.0
輸入	576	38.6	-	24.5	…	8.2	16.3	3.2	10.4	0.5	-
畜産食料品製造業計	1 405 (94.1)	100.0	42.1	37.0	…	15.1	…	3.1	14.0	0.7	3.2
国内産	859	61.1	42.1	11.8	4.9	6.9	…	-	3.9	0.2	3.2
輸入	546	38.9	-	25.2	…	8.2	17.0	3.1	10.1	0.5	-
冷凍調理食品製造業計	63 (4.2)	100.0	1.0	32.0	…	28.3	…	7.5	59.4	0.1	-
国内産	48	76.7	1.0	21.7	0.1	21.6	…	-	53.9	0.1	-
輸入	15	23.3	-	10.4	…	6.7	3.7	7.5	5.5	-	-
その他計	25 (1.7)	100.0	2.9	38.4	…	33.0	…	0.1	56.2	2.4	-
国内産	10	39.7	2.9	20.2	1.5	18.7	…	-	15.0	1.6	-
輸入	15	60.3	-	18.2	…	14.4	3.9	0.1	41.2	0.8	-
《参考》部分肉換算											
食品製造業計	1 326	100.0	34.4	40.3	…	17.9	…	3.8	18.4	0.8	2.4
国内産	745	56.2	34.4	12.6	4.1	8.6	…	-	6.6	0.2	2.4
輸入	582	43.8	-	27.7	…	9.3	18.4	3.8	11.8	0.6	-

注：1 仕入量は、実際に仕入を行った形態（枝肉、部分肉、精肉）での実重量をそのまま積み上げて推定している。
また、仕入量は、同業種間の流通を含む延べ仕入量であり、（ ）内は、業種計の仕入量を100%とした業種小分類別の割合である。

2 仕入先別仕入量割合は、各業種（業種小分類）の豚肉総仕入量（国内産+輸入）に対する割合である。

3 国内産の仕入先のうち、輸入商社からの仕入れは「その他の卸売業」に含めて調査した。
また、輸入の仕入先のうち、卸売市場からの仕入れは「その他の卸売業」に含めて調査した。

4 《参考》部分肉換算は、国内産と輸入の仕入量を比較する場合等、特定の区分間で仕入量を比較する場合には、形態を統一した仕入量が必要であることから、①仕入形状別仕入量割合を基に形状別仕入量（枝肉、部分肉及び精肉の仕入量）を算出し、②枝肉においては枝肉から部分肉の歩留まり率70%、精肉においては部分肉から精肉の歩留まり率90%を用いて行った。

(2) 牛肉

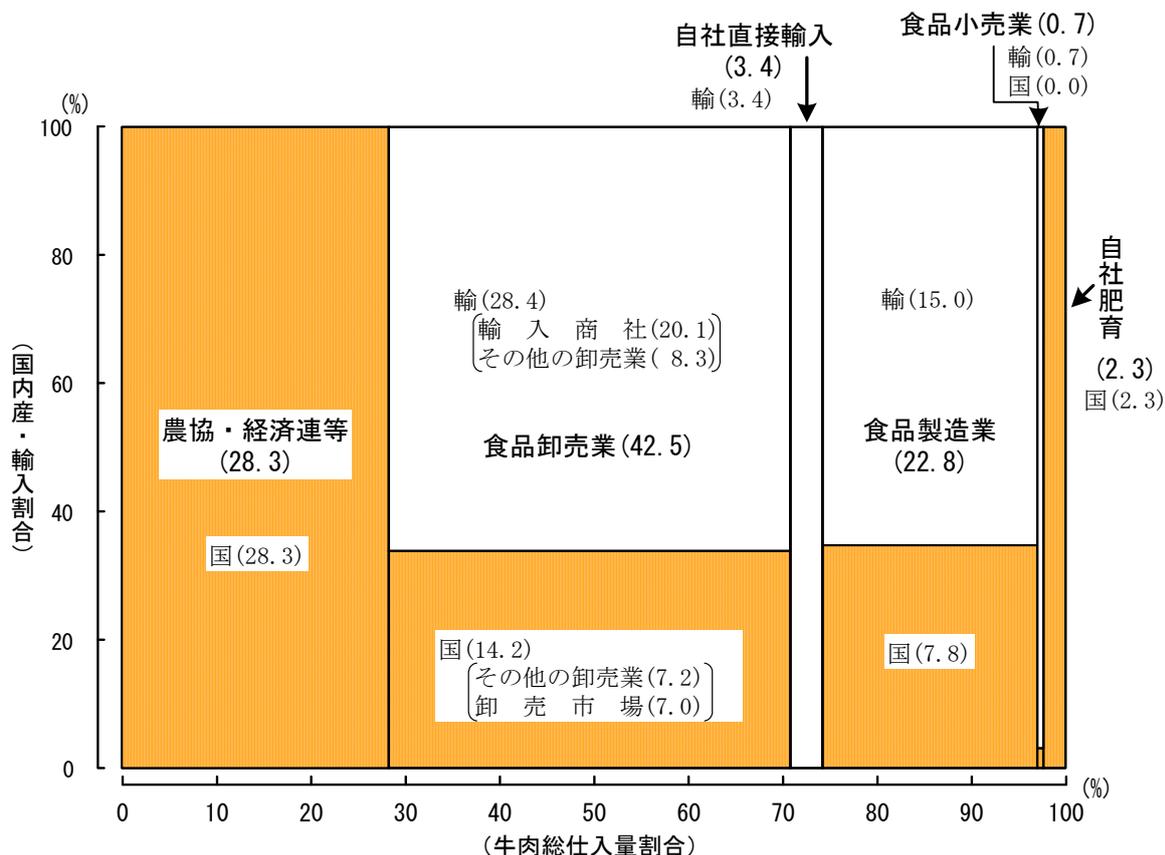
ア 食品製造業における牛肉の仕入量は38万 t で、国内産が20万 t、輸入が18万 t となっている。

仕入先別仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れが仕入量全体の42.5%（国内産14.2%、輸入28.4%）と最も高く、次いで農協・経済連等からが28.3%、食品製造業からが22.8%（国内産7.8%、輸入15.0%）となっている。

また、仕入量全体の52.6%を占める国内産についてみると、農協・経済連等からの仕入れが仕入量全体の28.3%と最も高く、次いで同業種である食品製造業からが7.8%、その他の卸売業からが7.2%となっている。

一方、輸入についてみると、輸入商社からの仕入れが仕入量全体の20.1%と最も高く、次いで同業種である食品製造業からが15.0%となっている。

図4 食品製造業における牛肉の仕入先別仕入量割合



注：1 () 内は、食品製造業の牛肉総仕入量（国内産＋輸入）に対する割合である。
 2 図表中、「国」は国内産、「輸」は輸入のことである。

イ 食品製造業における業種（業種小分類）別の仕入先別仕入量割合をみると、牛肉仕入量の83.1%を占める畜産食料品製造業においては、国内産は農協・経済連等からの仕入れが仕入量全体の33.7%と最も高く、次いで卸売市場からが8.4%、その他の卸売業からが8.1%となっている。また、輸入は輸入商社からの仕入れが仕入量全体の19.1%と最も高く、次いでその他の卸売業からが8.5%となっている。

一方、冷凍調理食品製造業においては、国内産は同業種である食品製造業からの仕入れが仕入量全体の19.9%と最も高く、輸入は輸入商社からの仕入れが仕入量全体の58.1%と最も高くなっている。

表5 食品製造業における牛肉の業種（業種小分類）別仕入量及び仕入先別仕入量割合

単位：%

業 種	仕 入 量	計	仕 入 先 別 仕 入 量 割 合 (仕入量を100とした割合)								
			農協・ 経済連等	食 品 卸売業	卸売市場	その他の 卸 売 業	輸入商社	自社直接 輸 入	食 品 製造業	食 品 小売業	自社肥育
	千 t										
食 品 製 造 業 計	380 (100.0)	100.0	28.3	42.5	...	15.4	...	3.4	22.8	0.7	2.3
国 内 産	200	52.6	28.3	14.2	7.0	7.2	...	-	7.8	0.0	2.3
輸 入	180	47.4	-	28.4	...	8.3	20.1	3.4	15.0	0.7	-
畜 産 食 料 品 製 造 業	316 (83.1)	100.0	33.7	44.1	...	16.6	...	3.5	15.1	0.8	2.8
国 内 産	189	59.8	33.7	16.5	8.4	8.1	...	-	6.8	-	2.8
輸 入	127	40.2	-	27.6	...	8.5	19.1	3.5	8.3	0.8	-
冷 凍 調 理 食 品 製 造 業	27 (7.1)	100.0	4.1	66.5	...	8.4	...	5.8	23.5	0.1	-
国 内 産	8	28.1	4.1	4.0	-	4.0	...	-	19.9	-	-
輸 入	19	71.9	-	62.5	...	4.3	58.1	5.8	3.6	0.1	-
そ の 他	37 (9.8)	100.0	-	12.3	...	11.1	...	-	87.2	0.5	-
国 内 産	4	9.6	-	2.0	0.2	1.8	...	-	7.3	0.2	-
輸 入	34	90.4	-	10.3	...	9.3	0.9	-	79.8	0.3	-
《 参 考 》 部 分 肉 換 算											
食 品 製 造 業 計	343	100.0	23.1	45.5	...	17.1	...	3.7	25.1	0.8	1.8
国 内 産	158	45.9	23.1	13.6	5.7	7.8	...	-	7.5	0.0	1.8
輸 入	186	54.1	-	32.0	...	9.3	22.7	3.7	17.6	0.8	-

- 注：1 仕入量は、実際に仕入を行った形態（枝肉、部分肉、精肉）での実重量をそのまま積み上げて推定している。
また、仕入量は、同業種間の流通を含む延べ仕入量であり、()内は、業種計の仕入量を100%とした業種小分類別の割合である。
- 2 仕入先別仕入量割合は、各業種（業種小分類）の豚肉総仕入量（国内産+輸入）に対する割合である。
- 3 国内産の仕入先のうち、輸入商社からの仕入れは「その他の卸売業」に含めて調査した。
また、輸入の仕入先のうち、卸売市場からの仕入れは「その他の卸売業」に含めて調査した。
- 4 《参考》部分肉換算は、国内産と輸入の仕入量を比較する場合等、特定の区分間で仕入量を比較する場合には、形態を統一した仕入量が必要であることから、①仕入形状別仕入量割合を基に形状別仕入量（枝肉、部分肉及び精肉の仕入量）を算出し、②枝肉においては枝肉から部分肉の歩留まり率70%、精肉においては部分肉から精肉の歩留まり率90%を用いて行った。

(3) 鶏肉

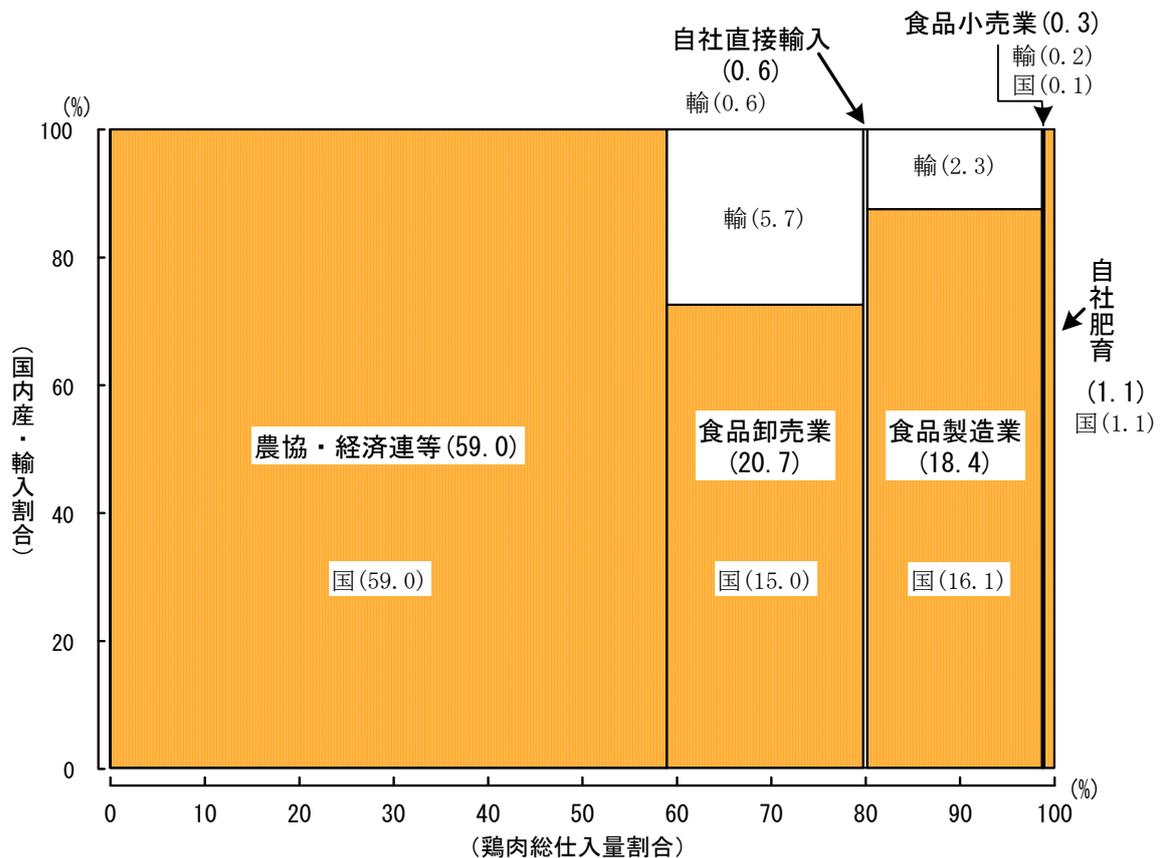
ア 食品製造業における鶏肉の仕入量は86万9千tで、国内産が79万4千t、輸入が7万6千tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、農協・経済連等からの仕入れが仕入量全体の59.0%と最も高く、次いで食品卸売業からが20.7%（国内産15.0%、輸入5.7%）、同業種である食品製造業からが18.4%（国内産16.1%、輸入2.3%）となっている。

また、仕入量全体の91.3%を占める国内産についてみると、農協・経済連等からの仕入れが仕入量全体の59.0%と最も高く、次いで同業種である食品製造業からが16.1%、食品卸売業からが15.0%となっている。

一方、輸入についてみると、食品卸売業からの仕入れが仕入量全体の5.7%と最も高くなっている。

図5 食品製造業における鶏肉の仕入先別仕入量割合



注：1 () 内は、食品製造業の鶏肉総仕入量（国内産+輸入）に対する割合である。

2 図表中、「国」は国内産、「輸」は輸入のことである。

イ 食品製造業における業種（業種小分類）別の仕入先別仕入量割合をみると、鶏肉仕入量の90.5%を占める畜産食料品製造業においては、国内産が94.9%とほとんどを占めており、農協・経済連等からの仕入れが仕入量全体の63.5%と最も高く、次いで同業種である食品製造業からが15.1%、食品卸売業からが15.0%となっている。

一方、冷凍調理食品製造業においては、国内産は同業種である食品製造業からの仕入れが仕入量全体の40.7%と最も高く、次いで農協・経済連等からが28.9%となっている。また、輸入は自社直接輸入による仕入れが仕入量全体の9.4%と最も高くなっている。

表6 食品製造業における鶏肉の業種（業種小分類）別仕入量及び仕入先別仕入量割合

業 種	仕 入 量	仕入先別仕入量割合（仕入量を100とした割合）						
		計	農協・ 経済連等	食 品 卸売業	自社直接 輸 入	食 品 製造業	食 品 小売業	自社肥育
	千 t							
食 品 製 造 業 計	869 (100.0)	100.0	59.0	20.7	0.6	18.4	0.3	1.1
国 内 産	794	91.3	59.0	15.0	-	16.1	0.1	1.1
輸 入	76	8.7	-	5.7	0.6	2.3	0.2	-
畜 産 食 料 品 製 造 業	787 (90.5)	100.0	63.5	19.6	0.1	15.4	0.2	1.2
国 内 産	747	94.9	63.5	15.0	-	15.1	0.0	1.2
輸 入	40	5.1	-	4.5	0.1	0.4	0.1	-
冷 凍 調 理 食 品 製 造 業	43 (5.0)	100.0	28.9	18.1	9.4	43.5	0.1	-
国 内 産	36	83.7	28.9	13.9	-	40.7	0.1	-
輸 入	7	16.3	-	4.2	9.4	2.7	-	-
そ の 他	40 (4.6)	100.0	2.3	45.7	0.1	49.5	2.5	-
国 内 産	11	28.1	2.3	15.3	-	8.9	1.6	-
輸 入	28	71.9	-	30.4	0.1	40.5	0.9	-

注：1 仕入量は、実際に仕入を行った形態（枝肉、部分肉、精肉）での実重量をそのまま積み上げて推定している。
また、仕入量とは、同業種間の流通を含む延べ仕入量であり、()内は、業種計の仕入量を100%とした業種小分類別の割合である。

2 仕入先別仕入量割合は、各業種（業種小分類）の鶏肉総仕入量（国内産+輸入）に対する割合である。

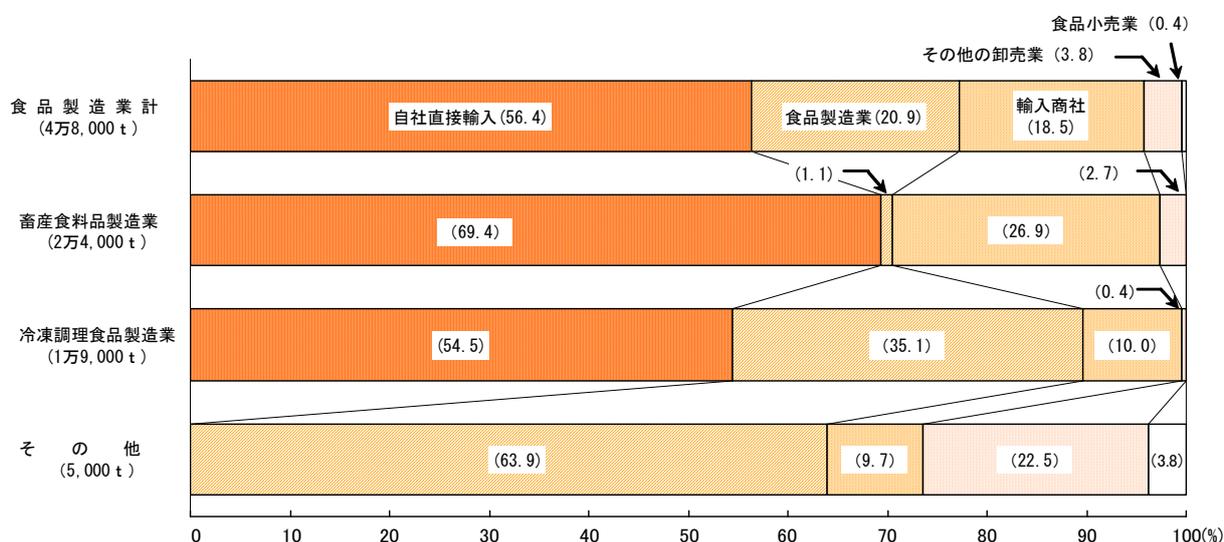
(4) 輸入一次加工原料畜産物（豚肉、牛肉及び鶏肉）

食品製造業における輸入一次加工原料畜産物（豚肉、牛肉及び鶏肉）の仕入量は4万8千tで、自社直接輸入による仕入れが仕入量全体の56.4%と最も高く、次いで同業種である食品製造業からが20.9%、輸入商社からが18.5%となっている。

食品製造業の業種（業種小分類）別に仕入先別仕入量割合をみると、畜産食料品製造業においては、自社直接輸入による仕入れが仕入量全体の69.4%と最も高く、次いで輸入商社からが26.9%となっている。

一方、冷凍調理食品製造業においては、自社直接輸入による仕入れが仕入量全体の54.5%と最も高く、次いで同業種である食品製造業からが35.1%となっている。

図6 食品製造業における輸入一次加工原料畜産物（豚肉、牛肉及び鶏肉）の業種（業種小分類）別仕入先別仕入量割合



注：業種（業種小分類）名の下の（ ）内は業種別の仕入量である。

5 食品小売業における畜産物の業種小分類別仕入量及び仕入量割合

(1) 豚肉

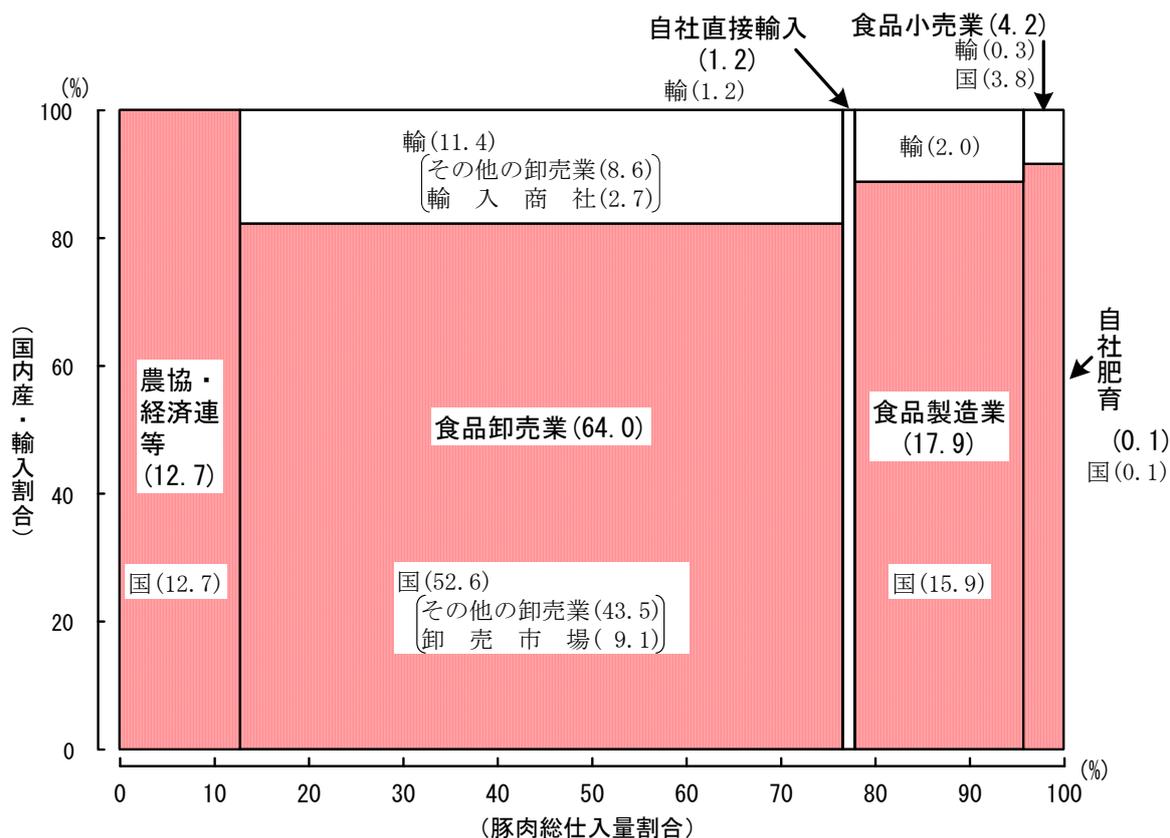
ア 食品小売業における豚肉の仕入量は77万1千tで、国内産が65万6千t、輸入が11万5千tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れが仕入量全体の64.0%（国内産52.6%、輸入11.4%）と最も高く、次いで食品製造業からが17.9%（国内産15.9%、輸入2.0%）、農協・経済連等からが12.7%となっている。

また、仕入量全体の85.1%を占める国内産についてみると、その他の卸売業からの仕入れが仕入量全体の43.5%と最も高く、次いで食品製造業からが15.9%、農協・経済連等からが12.7%となっている。

一方、輸入についてみると、その他の卸売業からの仕入れが仕入量全体の8.6%と最も高くなっている。

図7 食品小売業における豚肉の仕入先別仕入量割合



注：1 ()内は、食品小売業の豚肉総仕入量（国内産+輸入）に対する割合である。
2 図表中、「国」は国内産、「輸」は輸入のことである。

イ 食品小売業における業種（業種小分類）別の仕入先別仕入量割合をみると、豚肉仕入量の45.6%を占める各種食料品小売業、同18.4%を占める食肉小売業においては、国内産はその他の卸売業からの仕入れが仕入量全体のそれぞれ44.3%、47.8%と最も高く、輸入についても同様にその他の卸売業からの仕入れが仕入量全体のそれぞれ9.3%、10.8%と最も高くなっている。

一方、百貨店・総合スーパーにおいては国内産は食品製造業からの仕入れが仕入量全体の31.0%と最も高くなっており、輸入についてはその他の卸売業からの仕入れが仕入量全体の9.0%と最も高くなっている。

表7 食品小売業における豚肉の業種（業種小分類）別仕入量及び仕入先別仕入量割合

単位：%

業 種	仕 入 量	計	仕 入 先 別 仕 入 量 割 合 (仕入量を100とした割合)								
			農協・ 経済連等	食 品 卸売業	卸売市場	その他の 卸 売 業	輸入商社	自社直接 輸 入	食 品 製造業	食 品 小売業	自社肥育
食 品 小 売 業 計	千t 771 (100.0)	100.0	12.7	64.0	...	52.1	...	1.2	17.9	4.2	0.1
国 内 産	656	85.1	12.7	52.6	9.1	43.5	...	-	15.9	3.8	0.1
輸 入	115	14.9	-	11.4	...	8.6	2.7	1.2	2.0	0.3	-
百貨店・総合スーパー	139 (18.1)	100.0	5.1	41.6	...	34.9	...	3.0	37.6	12.6	-
国 内 産	109	78.4	5.1	31.2	5.3	25.9	...	-	31.0	11.1	-
輸 入	30	21.6	-	10.4	...	9.0	1.4	3.0	6.6	1.5	-
各種食料品小売業	351 (45.6)	100.0	21.0	59.2	...	53.6	...	0.2	16.7	2.9	-
国 内 産	312	88.9	21.0	49.1	4.8	44.3	...	-	16.0	2.8	-
輸 入	39	11.1	-	10.1	...	9.3	0.8	0.2	0.7	0.1	-
食 肉 小 売 業	142 (18.4)	100.0	6.7	85.0	...	58.6	...	3.0	3.9	1.0	0.3
国 内 産	121	85.1	6.7	73.7	25.8	47.8	...	-	3.3	1.0	0.3
輸 入	21	14.9	-	11.3	...	10.8	0.5	3.0	0.6	0.0	-
その他の飲食料品小売業	138 (17.9)	100.0	5.3	77.1	...	59.1	...	-	15.7	2.0	-
国 内 産	114	82.2	5.3	61.5	6.7	54.8	...	-	13.5	1.9	-
輸 入	25	17.8	-	15.5	...	4.3	11.3	-	2.2	0.1	-
《参考》部分肉換算											
食 品 小 売 業 計	772	100.0	12.6	62.8	...	51.6	...	1.2	18.9	4.4	0.0
国 内 産	656	84.9	12.6	51.4	8.5	42.9	...	-	16.9	4.0	0.0
輸 入	116	15.1	-	11.4	...	8.7	2.7	1.2	2.1	0.4	-

- 注：1 仕入量は、実際に仕入を行った形態（枝肉、部分肉、精肉）での実重量をそのまま積み上げて推定している。
また、仕入量は、同業種間の流通を含む延べ仕入量であり、()内は、業種計の仕入量を100%とした業種小分類別の割合である。
- 2 仕入先別仕入量割合は、各業種（業種小分類）の豚肉総仕入量（国内産+輸入）に対する割合である。
- 3 国内産の仕入先のうち、輸入商社からの仕入れは「その他の卸売業」に含めて調査した。
また、輸入の仕入先のうち、卸売市場からの仕入れは「その他の卸売業」に含めて調査した。
- 4 《参考》部分肉換算は、国内産と輸入の仕入量を比較する場合等、特定の区分間で仕入量を比較する場合には、形態を統一した仕入量が必要であることから、①仕入形状別仕入量割合を基に形状別仕入量（枝肉、部分肉及び精肉の仕入量）を算出し、②枝肉においては枝肉から部分肉の歩留まり率70%、精肉においては部分肉から精肉の歩留まり率90%を用いて行った。

(2) 牛肉

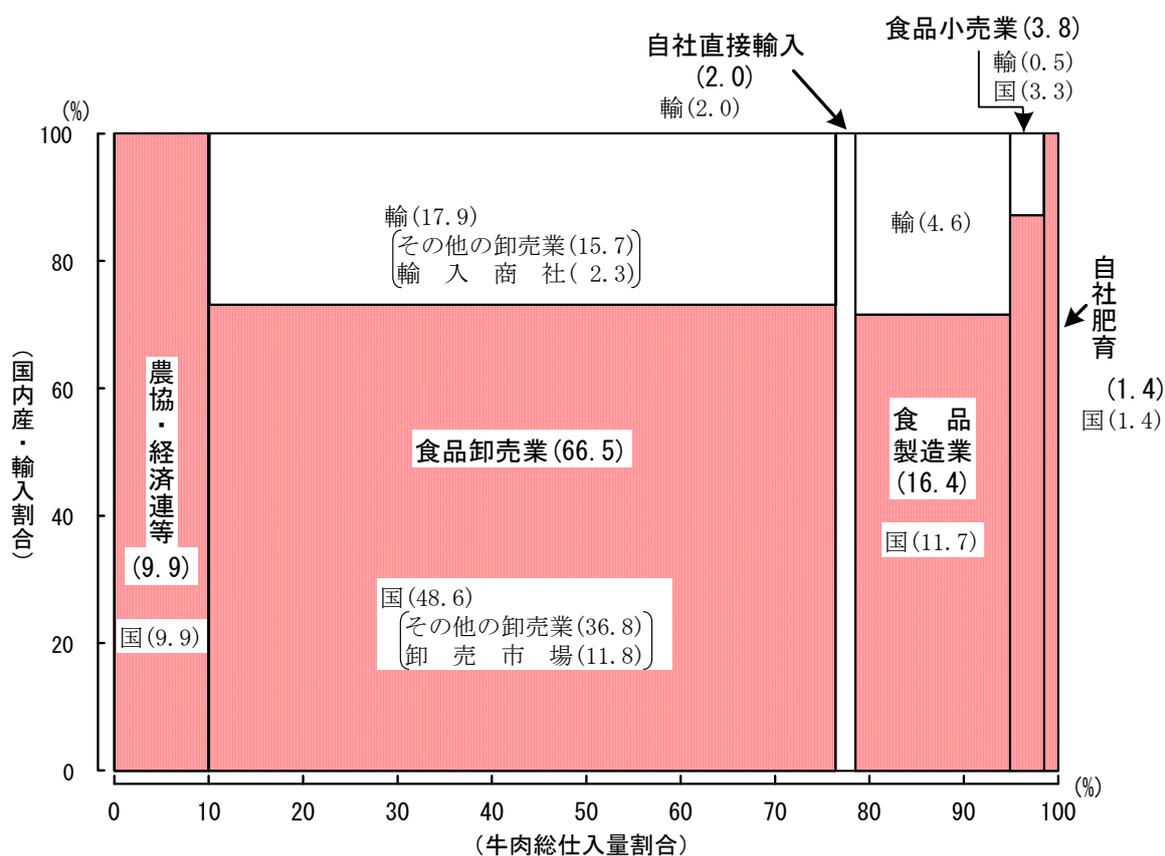
ア 食品小売業における牛肉の仕入量は40万 t で、国内産が30万 t、輸入が10万 t となっている。

仕入先別仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れが仕入量全体の66.5%（国内産48.6%、輸入17.9%）と最も高く、次いで食品製造業からが16.4%（国内産11.7%、輸入4.6%）となっている。

また、仕入量全体の74.9%を占める国内産についてみると、その他の卸売業からの仕入れが仕入量全体の36.8%と最も高く、次いで卸売市場からが11.8%、食品製造業からが11.7%となっている。

一方、輸入についてみると、その他の卸売業からの仕入れが仕入量全体の15.7%と最も高くなっている。

図8 食品小売業における牛肉の仕入先別仕入量割合



注：1 () 内は、食品小売業の牛肉総仕入量（国内産+輸入）に対する割合である。

2 図表中、「国」は国内産、「輸」は輸入のことである。

イ 食品小売業における業種（業種小分類）別の仕入先別仕入量割合をみると、牛肉仕入量の43.6%を占める各種食料品小売業、同26.6%を占める食肉小売業においては、国内産はその他の卸売業からの仕入れが仕入量全体のそれぞれ41.3%、32.8%と最も高く、輸入についても同様にその他の卸売業からの仕入れが仕入量全体のそれぞれ16.3%、19.7%と最も高くなっている。

一方、百貨店・総合スーパーにおいては、国内産は食品製造業からの仕入れが仕入量全体の20.3%と最も高く、輸入については、食品製造業及びその他の卸売業からの仕入れがともに仕入量全体の12.8%と最も高くなっている。

表8 食品小売業における牛肉の業種（業種小分類）別仕入量及び仕入先別仕入量割合

		単位：%										
業種	仕入量	計	仕入先別仕入量割合（仕入量を100とした割合）					自社直接輸入	食品製造業	食品小売業	自社肥育	
			農協・経済連等	食品卸売業	卸売市場	その他の卸売業	輸入商社					
食品小売業計		400 (100.0)	100.0	9.9	66.5	...	52.5	...	2.0	16.4	3.8	1.4
国内産		300	74.9	9.9	48.6	11.8	36.8	...	-	11.7	3.3	1.4
輸入		100	25.1	-	17.9	...	15.7	2.3	2.0	4.6	0.5	-
百貨店・総合スーパー		62 (15.4)	100.0	7.2	40.6	...	31.9	...	5.9	33.2	13.1	-
国内産		39	63.5	7.2	25.7	6.6	19.1	...	-	20.3	10.3	-
輸入		22	36.5	-	15.0	...	12.8	2.2	5.9	12.8	2.8	-
各種食料品小売業		174 (43.6)	100.0	15.6	64.9	...	57.6	...	0.7	16.8	2.0	-
国内産		138	79.0	15.6	47.2	5.9	41.3	...	-	14.4	2.0	-
輸入		37	21.0	-	17.7	...	16.3	1.4	0.7	2.4	0.1	-
食肉小売業		106 (26.6)	100.0	6.0	82.1	...	52.5	...	2.9	1.6	2.2	5.2
国内産		81	76.4	6.0	62.0	29.2	32.8	...	-	1.1	2.1	5.2
輸入		25	23.6	-	20.1	...	19.7	0.4	2.9	0.5	0.0	-
その他の飲食料品小売業		57 (14.4)	100.0	3.3	70.1	...	59.0	...	-	24.7	1.9	-
国内産		41	72.0	3.3	52.6	2.8	49.7	...	-	14.3	1.8	-
輸入		16	28.0	-	17.5	...	9.2	8.3	-	10.4	0.1	-
《参考》部分肉換算												
食品小売業計		397	100.0	9.7	65.9	...	52.2	...	2.0	17.3	4.0	1.0
国内産		295	74.3	9.7	47.7	11.4	36.3	...	-	12.5	3.4	1.0
輸入		102	25.7	-	18.2	...	16.0	2.3	2.0	4.9	0.5	-

注：1 仕入量は、実際に仕入を行った形態（枝肉、部分肉、精肉）での実重量をそのまま積み上げて推定している。
また、仕入量は、同業種間の流通を含む延べ仕入量であり、（ ）内は、業種計の仕入量を100%とした業種小分類別の割合である。

2 仕入先別仕入量割合は、各業種（業種小分類）の豚肉総仕入量（国内産+輸入）に対する割合である。

3 国内産の仕入先のうち、輸入商社からの仕入れは「その他の卸売業」に含めて調査した。
また、輸入の仕入先のうち、卸売市場からの仕入れは「その他の卸売業」に含めて調査した。

4 《参考》部分肉換算は、国内産と輸入の仕入量を比較する場合等、特定の区分間で仕入量を比較する場合には、形態を統一した仕入量が必要であることから、①仕入形状別仕入量割合を基に形状別仕入量（枝肉、部分肉及び精肉の仕入量）を算出し、②枝肉においては枝肉から部分肉の歩留まり率70%、精肉においては部分肉から精肉の歩留まり率90%を用いて行った。

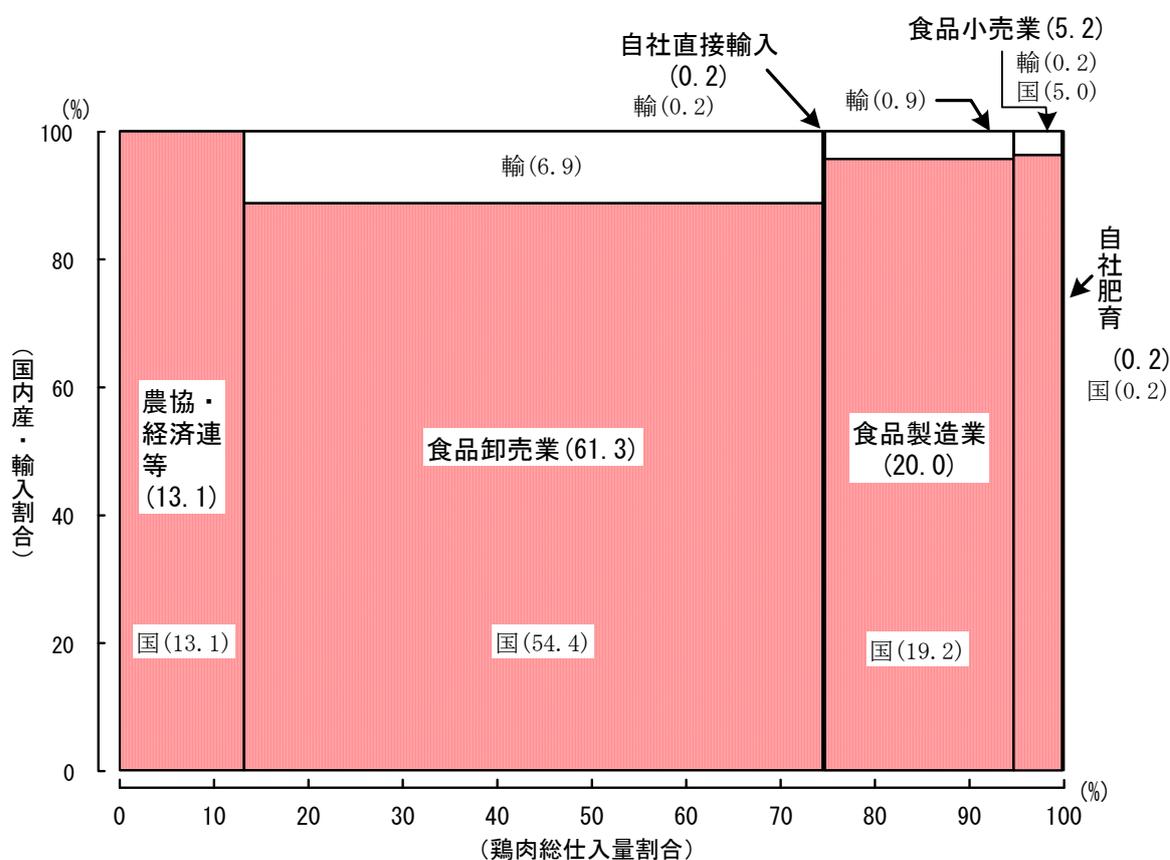
(3) 鶏肉

ア 食品小売業における鶏肉の仕入量は55万6千tで、国内産が51万t、輸入が4万5千tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れが仕入量全体の61.3%（国内産54.4%、輸入6.9%）と最も高く、次いで食品製造業からが20.0%（国内産19.2%、輸入0.9%）となっている。

また、仕入量全体の91.9%を占める国内産についてみると、食品卸売業からの仕入れが仕入量全体の54.4%と最も高く、次いで食品製造業からが19.2%となっている。

図9 食品小売業における鶏肉の仕入先別仕入量割合



注：1 () 内は、食品小売業の鶏肉総仕入量（国内産+輸入）に対する割合である。
2 図表中、「国」は国内産、「輸」は輸入のことである。

イ 食品小売業における業種（業種小分類）別の仕入先別仕入量割合をみると、鶏肉仕入量の45.9%を占める各種食料品小売業、同16.1%を占める食肉小売業においては、国内産は食品卸売業からの仕入れが仕入量全体のそれぞれ53.0%、72.9%と最も高くなっている。

一方、百貨店・総合スーパーにおいては、国内産は食品製造業からの仕入れが仕入量全体の42.3%と最も高く、次いで食品卸売業からが31.0%となっている。

表9 食品小売業における鶏肉の業種（業種小分類）別仕入量及び仕入先別仕入量割合

業 種	仕 入 量	仕入先別仕入量割合（仕入量を100とした割合）						
		計	農協・ 経済連等	食 品 卸売業	自社直接 輸 入	食 品 製造業	食 品 小売業	自社肥育
食 品 小 売 業 計	千 t 556 (100.0)	100.0	13.1	61.3	0.2	20.0	5.2	0.2
国 内 産	510	91.9	13.1	54.4	-	19.2	5.0	0.2
輸 入	45	8.1	-	6.9	0.2	0.9	0.2	-
百貨店・総合スーパー	103 (18.5)	100.0	6.5	34.0	0.5	44.6	14.3	-
国 内 産	96	93.5	6.5	31.0	-	42.3	13.7	-
輸 入	7	6.5	-	3.0	0.5	2.4	0.6	-
各種食料品小売業	255 (45.9)	100.0	19.7	57.6	0.0	19.0	3.7	-
国 内 産	241	94.8	19.7	53.0	-	18.4	3.6	-
輸 入	13	5.2	-	4.5	0.0	0.6	0.1	-
食 肉 小 売 業	90 (16.1)	100.0	10.0	80.3	0.4	4.2	4.1	1.1
国 内 産	82	91.7	10.0	72.9	-	3.6	4.1	1.1
輸 入	7	8.3	-	7.4	0.4	0.5	0.1	-
その他の飲食料品小売業	108 (19.5)	100.0	6.5	80.3	-	12.2	1.0	-
国 内 産	91	83.6	6.5	64.3	-	11.8	1.0	-
輸 入	18	16.4	-	16.0	-	0.4	0.0	-

注：1 仕入量は、実際に仕入を行った形態（枝肉、部分肉、精肉）での実重量をそのまま積み上げて推定している。

また、仕入量とは、同業種間の流通を含む延べ仕入量であり、（ ）内は、業種計の仕入量を100%とした業種小分類別の割合である。

2 仕入先別仕入量割合は、各業種（業種小分類）の鶏肉総仕入量（国内産+輸入）に対する割合である。

6 外食産業における畜産物の業種小分類別仕入量及び仕入量割合

(1) 豚肉

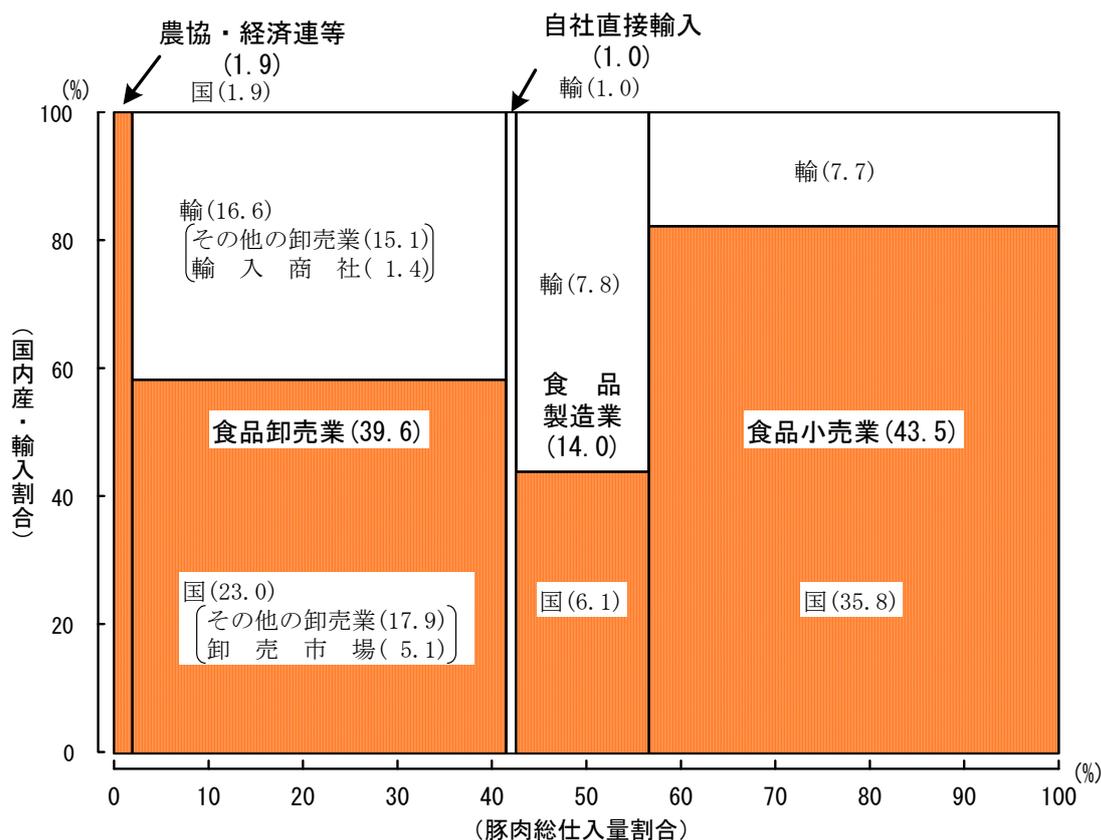
ア 外食産業における豚肉の仕入量は25万5千tで、国内産が17万1千t、輸入が8万5千tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、食品小売業からの仕入れが仕入量全体の43.5%（国内産35.8%、輸入7.7%）と最も高く、次いで食品卸売業からが39.6%（国内産23.0%、輸入16.6%）となっている。

また、仕入量全体の66.9%を占める国内産についてみると、食品小売業からの仕入れが仕入量全体の35.8%と最も高く、次いでその他の卸売業からが17.9%となっている。

一方、輸入についてみると、その他の卸売業からの仕入れが仕入量全体の15.1%と最も高くなっている。

図10 外食産業における豚肉の仕入先別仕入量割合



注：1 () 内は、外食産業の豚肉総仕入量（国内産＋輸入）に対する割合である。

2 図表中、「国」は国内産、「輸」は輸入のことである。

イ 外食産業における業種（業種小分類）別の仕入先別仕入量割合をみると、国内産は焼肉店を除き食品小売業からの仕入れが最も高く、中華料理店・東洋料理店では仕入量全体の40.6%、一般食堂では同36.9%となっている。

一方、輸入は中華料理店・東洋料理店、一般食堂ではその他の卸売業からの仕入れが仕入量全体のそれぞれ19.0%、16.1%と最も高く、日本料理店では食品製造業からの仕入れが仕入量全体の21.9%と最も高くなっている。

表10 外食産業における豚肉の業種（業種小分類）別仕入量及び仕入先別仕入量割合

業 種	仕 入 量	計	仕 入 先 別 仕 入 量 割 合 (仕入量を100とした割合)								
			農協・ 経済連等	食 品 卸売業	卸 売 場			自 社 直 接 輸 入	食 品 製 造 業	食 品 小 売 業	自 社 肥 育
					卸 売 場	そ の 他 の 卸 売 業	輸 入 商 社				
外 食 産 業 計	千t 255 (100.0)	100.0	1.9	39.6	...	33.1	...	1.0	14.0	43.5	-
国 内 産	171	66.9	1.9	23.0	5.1	17.9	...	-	6.1	35.8	-
輸 入	85	33.1	-	16.6	...	15.1	1.4	1.0	7.8	7.7	-
一 般 食 堂	64 (25.1)	100.0	0.3	41.8	...	34.7	...	0.8	8.6	48.5	-
国 内 産	42	65.4	0.3	24.6	6.0	18.6	...	-	3.6	36.9	-
輸 入	22	34.6	-	17.2	...	16.1	1.1	0.8	5.0	11.6	-
日 本 料 理 店	53 (20.7)	100.0	0.5	30.5	...	22.6	...	2.2	27.2	39.5	-
国 内 産	32	59.9	0.5	17.6	5.0	12.5	...	-	5.4	36.4	-
輸 入	21	40.1	-	13.0	...	10.0	3.0	2.2	21.9	3.1	-
西 洋 料 理 店	15 (6.0)	100.0	2.4	37.3	...	34.3	...	0.3	15.8	44.1	-
国 内 産	10	65.5	2.4	20.5	2.9	17.6	...	-	8.4	34.2	-
輸 入	5	34.5	-	16.9	...	16.8	0.1	0.3	7.4	9.9	-
中 華 料 理 店・東 洋 料 理 店	88 (34.3)	100.0	1.2	39.1	...	33.6	...	0.7	10.7	48.4	-
国 内 産	61	69.1	1.2	19.4	4.7	14.6	...	-	7.9	40.6	-
輸 入	27	30.9	-	19.7	...	19.0	0.8	0.7	2.7	7.7	-
焼 肉 店	17 (6.8)	100.0	17.5	69.8	...	62.3	...	-	6.3	6.5	-
国 内 産	14	79.3	17.5	54.7	6.5	48.2	...	-	3.1	4.0	-
輸 入	4	20.7	-	15.0	...	14.1	0.9	-	3.2	2.4	-
そ の 他 の 一 般 飲 食 店	18 (7.1)	100.0	0.0	33.7	...	26.1	...	1.7	16.0	48.6	-
国 内 産	13	71.0	0.0	23.0	4.3	18.7	...	-	9.7	38.2	-
輸 入	5	29.0	-	10.7	...	7.4	3.2	1.7	6.3	10.3	-
《 参 考 》 部 分 肉 換 算											
外 食 産 業 計	272	100.0	1.8	39.0	...	32.7	...	1.0	13.9	44.3	-
国 内 産	182	67.0	1.8	22.6	4.9	17.8	...	-	6.0	36.5	-
輸 入	90	33.0	-	16.4	...	15.0	1.4	1.0	7.9	7.7	-

- 注：1 仕入量は、実際に仕入を行った形態（枝肉、部分肉、精肉）での実重量をそのまま積み上げて推定している。
また、仕入量は、同業種間の流通を含む延べ仕入量であり、()内は、業種計の仕入量を100%とした業種小分類別の割合である。
- 2 仕入先別仕入量割合は、各業種（業種小分類）の豚肉総仕入量（国内産+輸入）に対する割合である。
- 3 国内産の仕入先のうち、輸入商社からの仕入れは「その他の卸売業」に含めて調査した。
また、輸入の仕入先のうち、卸売市場からの仕入れは「その他の卸売業」に含めて調査した。
- 4 《参考》部分肉換算は、国内産と輸入の仕入量を比較する場合等、特定の区分間で仕入量を比較する場合には、形態を統一した仕入量が必要であることから、①仕入形状別仕入量割合を基に形状別仕入量（枝肉、部分肉及び精肉の仕入量）を算出し、②枝肉においては枝肉から部分肉の歩留まり率70%、精肉においては部分肉から精肉の歩留まり率90%を用いて行った。

(2) 牛肉

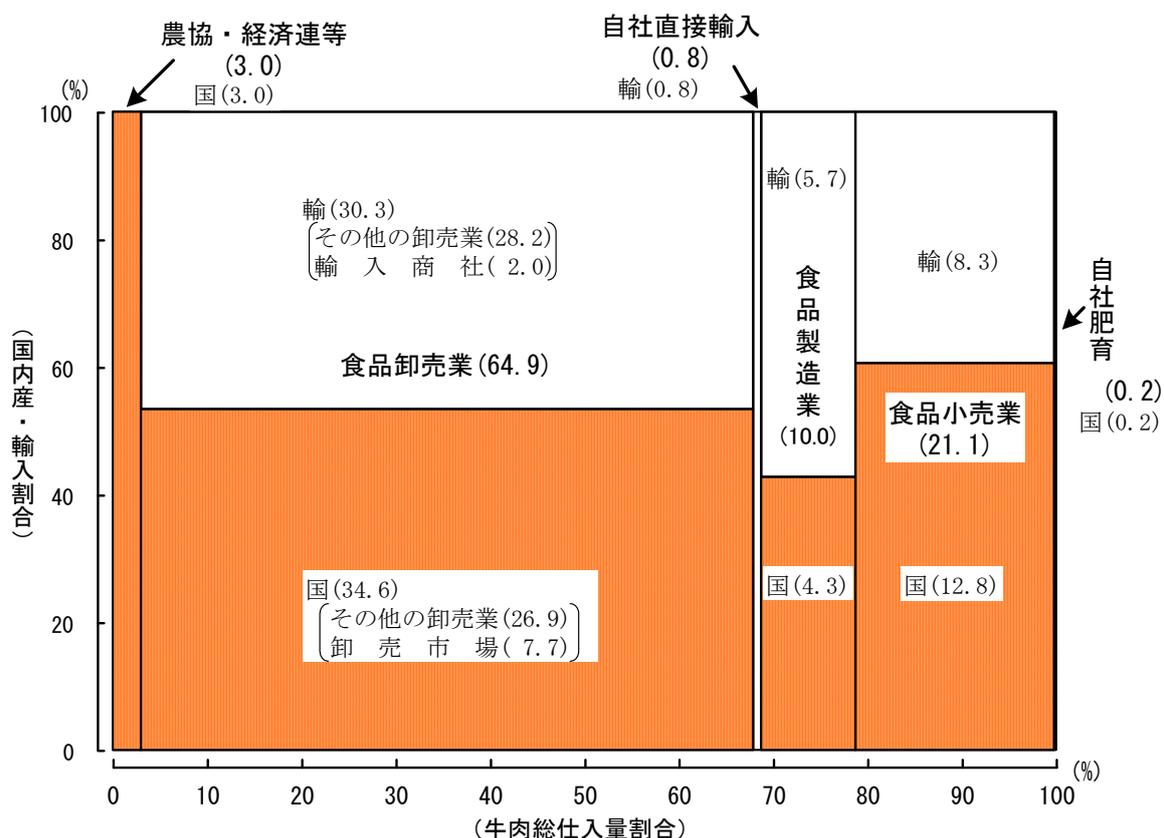
ア 外食産業における牛肉の仕入量は19万5千tで、国内産が10万7千t、輸入が8万8千tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れが仕入量全体の64.9%（国内産34.6%、輸入30.3%）と最も高く、次いで食品小売業からが21.1%（国内産12.8%、輸入8.3%）となっている。

また、仕入量全体の54.9%を占める国内産についてみると、その他の卸売業からの仕入れが仕入量全体の26.9%と最も高く、次いで食品小売業からが12.8%となっている。

一方、輸入についてみると、その他の卸売業からの仕入れが全体の28.2%と最も高くなっている。

図11 外食産業における牛肉の仕入先別仕入量割合



注：1 () 内は、外食産業の牛肉総仕入量（国内産+輸入）に対する割合である。

2 図表中、「国」は国内産、「輸」は輸入のことである。

イ 外食産業における業種（業種小分類）別の仕入先別仕入量割合をみると、牛肉仕入量の44.0%を占める焼肉店、同31.4%を占める西洋料理店においては、国内産はその他の卸売業からの仕入れが仕入量全体のそれぞれ43.5%、16.7%と最も高く、輸入についても同様にその他の卸売業からの仕入れが仕入量全体のそれぞれ17.1%、49.8%と最も高くなっている。

一方、一般食堂においては国内産は食品小売業からの仕入れが、輸入はその他の卸売業からの仕入れが仕入量全体のそれぞれ19.7%、29.1%と最も高くなっている。

表11 外食産業における牛肉の業種（業種小分類）別仕入量及び仕入先別仕入量割合

		単位：%										
業 種	仕 入 量	仕 入 先 別 仕 入 量 割 合 (仕入量を100とした割合)										
		計	農協・ 経済連等	食 品 卸売業	卸売市場	その他の 卸 売 業	輸入商社	自社直接 輸 入	食 品 製造業	食 品 小売業	自社肥育	
外 食 産 業 計		195 (100.0)	100.0	3.0	64.9	...	55.1	...	0.8	10.0	21.1	0.2
国 内 産		107	54.9	3.0	34.6	7.7	26.9	...	-	4.3	12.8	0.2
輸 入		88	45.1	-	30.3	...	28.2	2.0	0.8	5.7	8.3	-
一 般 食 堂		23 (12.0)	100.0	2.4	38.1	...	33.0	...	2.2	18.3	37.2	1.8
国 内 産		8	32.1	2.4	6.4	2.5	3.9	...	-	1.7	19.7	1.8
輸 入		16	67.9	-	31.7	...	29.1	2.6	2.2	16.5	17.5	-
日 本 料 理 店		9 (4.5)	100.0	0.2	44.2	...	40.8	...	4.8	25.1	25.7	-
国 内 産		5	58.1	0.2	26.9	1.8	25.1	...	-	18.8	12.2	-
輸 入		4	41.9	-	17.3	...	15.7	1.7	4.8	6.3	13.5	-
西 洋 料 理 店		61 (31.4)	100.0	1.1	71.9	...	66.5	...	0.1	8.0	18.9	-
国 内 産		19	31.8	1.1	20.8	4.1	16.7	...	-	1.9	8.0	-
輸 入		42	68.2	-	51.1	...	49.8	1.3	0.1	6.1	10.9	-
中 華 料 理 店・東 洋 料 理 店		10 (5.0)	100.0	-	29.4	...	23.5	...	-	5.8	64.7	-
国 内 産		7	72.2	-	16.0	3.7	12.3	...	-	3.9	52.3	-
輸 入		3	27.8	-	13.4	...	11.2	2.2	-	1.9	12.4	-
焼 肉 店		86 (44.0)	100.0	5.3	74.5	...	60.6	...	-	7.5	12.6	-
国 内 産		65	75.7	5.3	56.4	12.9	43.5	...	-	4.4	9.6	-
輸 入		21	24.3	-	18.1	...	17.1	1.0	-	3.1	3.1	-
そ の 他 の 一 般 飲 食 店		6 (3.1)	100.0	0.0	47.2	...	20.4	...	9.3	18.1	25.4	-
国 内 産		3	49.4	0.0	14.7	5.7	9.1	...	-	15.9	18.7	-
輸 入		3	50.6	-	32.5	...	11.3	21.2	9.3	2.2	6.7	-
《 参 考 》 部 分 肉 換 算												
外 食 産 業 計		198	100.0	2.8	63.9	...	54.7	...	0.8	10.5	21.8	0.2
国 内 産		107	54.1	2.8	33.7	7.2	26.5	...	-	4.4	13.0	0.2
輸 入		91	45.9	-	30.2	...	28.2	2.1	0.8	6.1	8.8	-

注：1 仕入量は、実際に仕入を行った形態（枝肉、部分肉、精肉）での実重量をそのまま積み上げて推定している。
また、仕入量は、同業種間の流通を含む延べ仕入量であり、()内は、業種計の仕入量を100%とした業種小分類別の割合である。
2 仕入先別仕入量割合は、各業種（業種小分類）の豚肉総仕入量（国内産+輸入）に対する割合である。
3 国内産の仕入先のうち、輸入商社からの仕入れは「その他の卸売業」に含めて調査した。
また、輸入の仕入先のうち、卸売市場からの仕入れは「その他の卸売業」に含めて調査した。
4 《参考》部分肉換算は、国内産と輸入の仕入量を比較する場合等、特定の区分間で仕入量を比較する場合には、形態を統一した仕入量が必要であることから、①仕入形状別仕入量割合を基に形状別仕入量（枝肉、部分肉及び精肉の仕入量）を算出し、②枝肉においては枝肉から部分肉の歩留まり率70%、精肉においては部分肉から精肉の歩留まり率90%を用いて行った。

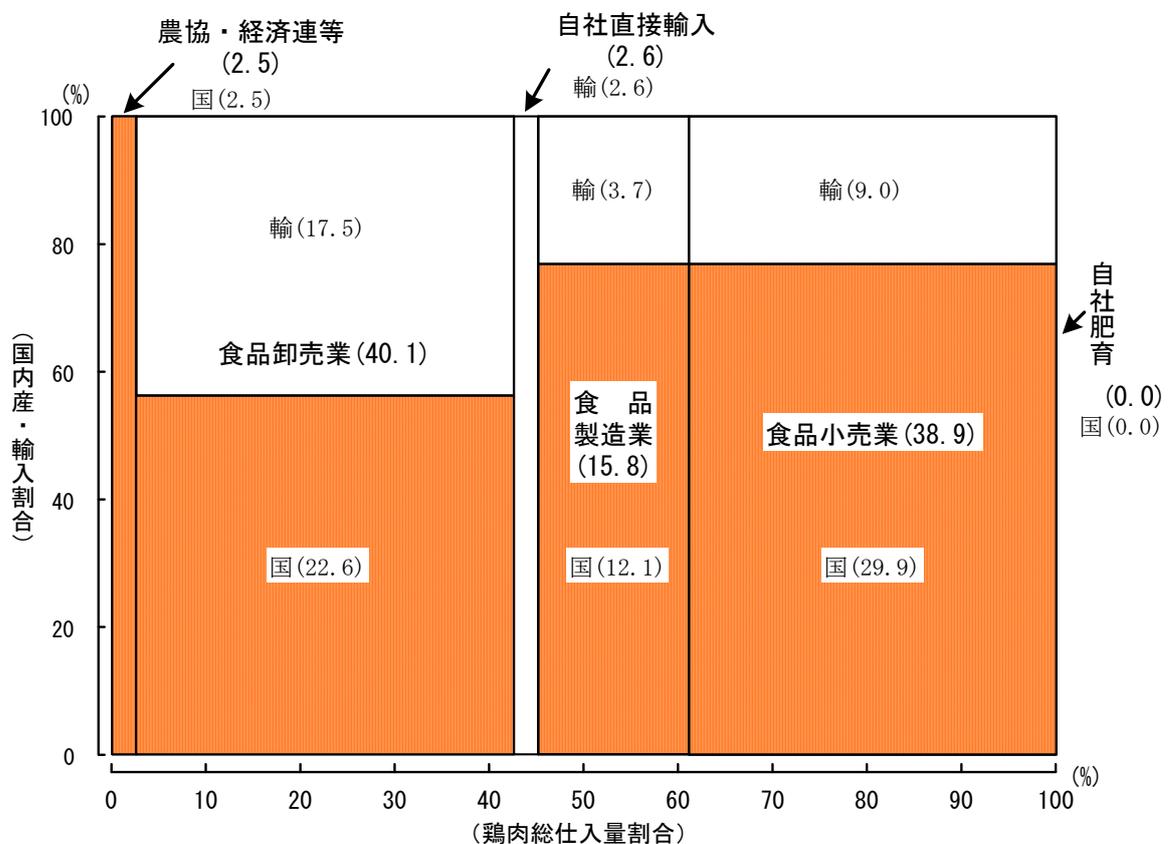
(3) 鶏肉

ア 外食産業における鶏肉の仕入量は12万9千tで、国内産が8万7千t、輸入が4万2千tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れが仕入量全体の40.1%（国内産22.6%、輸入17.5%）と最も高く、次いで食品小売業からが38.9%（国内産29.9%、輸入9.0%）となっている。

また、仕入量全体の67.2%を占める国内産についてみると、食品小売業からの仕入れが仕入量全体の29.9%と最も高く、次いで食品卸売業からが22.6%となっている。

図12 外食産業における鶏肉の仕入先別仕入量割合



注：1 () 内は、外食産業の鶏肉総仕入量（国内産＋輸入）に対する割合である。
2 図表中、「国」は国内産、「輸」は輸入のことである。

イ 外食産業における業種（業種小分類）別の仕入先別仕入量割合をみると、鶏肉仕入量の31.9%を占める一般食堂においては、国内産、輸入ともに食品卸売業からの仕入れが仕入量全体のそれぞれ21.9%、31.1%と最も高くなっている。

一方、中華料理店・東洋料理店においては、国内産は食品小売業からの仕入れが仕入量全体の42.7%と最も高く、輸入は食品卸売業からの仕入れが13.6%と最も高くなっている。

表12 外食産業における鶏肉の業種（業種小分類）別仕入量及び仕入先別仕入量割合

単位：%

業 種	仕 入 量	計	仕入先別仕入量割合（仕入量を100とした割合）						
			農協・ 経済連等	食 品 卸売業	自社直接 輸 入	食 品 製造業	食 品 小売業	自社肥育	
	千 t								
外 食 産 業 計	129 (100.0)	100.0	2.5	40.1	2.6	15.8	38.9	0.0	
国 内 産	87	67.2	2.5	22.6	-	12.1	29.9	0.0	
輸 入	42	32.8	-	17.5	2.6	3.7	9.0	-	
一 般 食 堂	41 (31.9)	100.0	4.9	53.0	2.3	8.6	31.0	0.1	
国 内 産	20	49.3	4.9	21.9	-	3.8	18.6	0.1	
輸 入	21	50.7	-	31.1	2.3	4.9	12.5	-	
日 本 料 理 店	13 (10.3)	100.0	0.0	49.3	0.3	12.8	37.5	-	
国 内 産	10	77.3	0.0	39.9	-	12.4	25.0	-	
輸 入	3	22.7	-	9.4	0.3	0.4	12.6	-	
西 洋 料 理 店	15 (11.5)	100.0	2.2	39.8	2.2	9.4	46.4	-	
国 内 産	9	61.2	2.2	22.4	-	4.5	32.1	-	
輸 入	6	38.8	-	17.4	2.2	5.0	14.3	-	
中華料理店・東洋料理店	30 (23.4)	100.0	2.1	32.9	4.8	9.6	50.6	-	
国 内 産	21	68.5	2.1	19.3	-	4.4	42.7	-	
輸 入	10	31.5	-	13.6	4.8	5.1	7.9	-	
焼 肉 店	9 (6.9)	100.0	2.4	62.2	-	24.0	11.4	-	
国 内 産	7	81.7	2.4	46.2	-	23.9	9.3	-	
輸 入	2	18.3	-	16.0	-	0.2	2.1	-	
その他の一般飲食店	21 (16.0)	100.0	0.0	9.8	2.8	42.2	45.2	-	
国 内 産	19	92.2	0.0	7.6	-	40.3	44.2	-	
輸 入	2	7.8	-	2.1	2.8	1.9	0.9	-	

注：1 仕入量は、実際に仕入を行った形態（枝肉、部分肉、精肉）での実重量をそのまま積み上げて推定している。

また、仕入量とは、同業種間の流通を含む延べ仕入量であり、()内は、業種計の仕入量を100%とした業種小分類別の割合である。

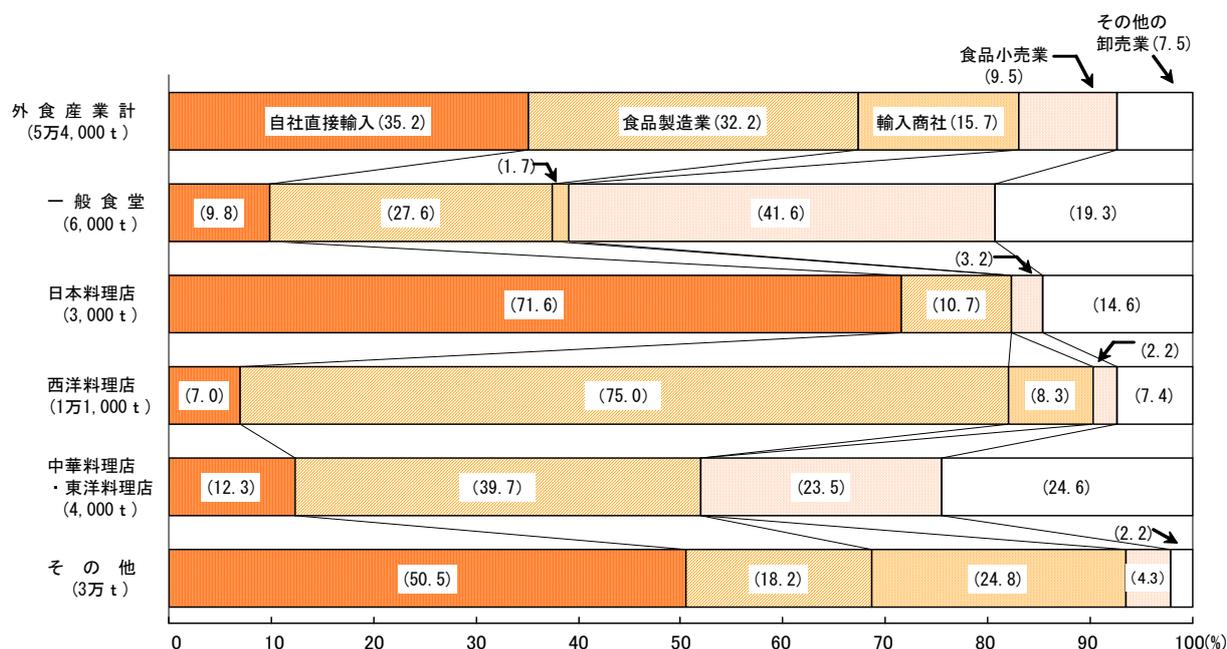
2 仕入先別仕入量割合は、各業種（業種小分類）の鶏肉総仕入量（国内産+輸入）に対する割合である。

(4) 輸入一次加工原料畜産物（豚肉、牛肉及び鶏肉）

外食産業における輸入一次加工原料畜産物（豚肉、牛肉及び鶏肉）の仕入量は5万4千tで、自社直接輸入による仕入れが仕入量全体の35.2%と最も高く、次いで食品製造業からが32.2%、輸入会社からが15.7%となっている。

外食産業の業種（業種小分類）別に仕入先別仕入量割合をみると、西洋料理店においては、食品製造業からの仕入れが仕入量全体の75.0%と最も高くなっている。

図13 外食産業における輸入一次加工原料畜産物（豚肉、牛肉及び鶏肉）の業種（業種小分類）別仕入先別仕入量割合



注：業種（業種小分類）名の下の（ ）内は業種別の仕入量である。

7 食品卸売業における畜産物の仕入量及び仕入量割合

(1) 豚肉

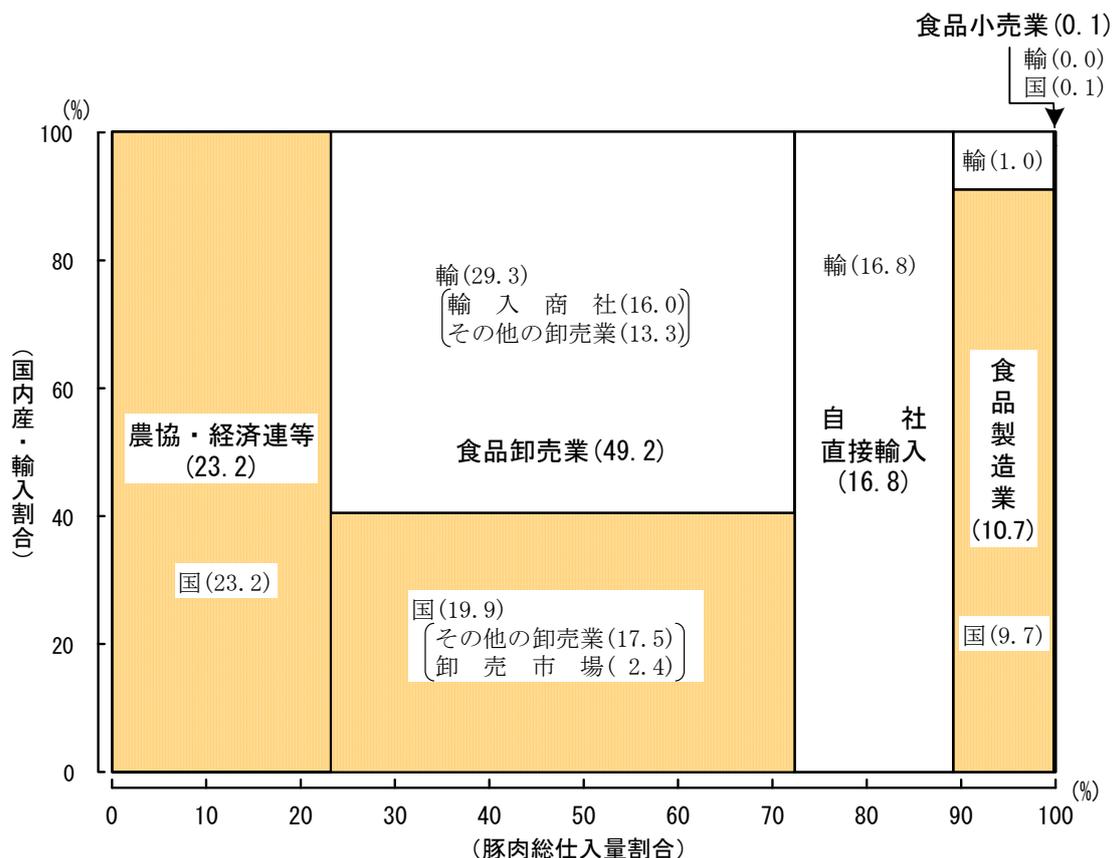
食品卸売業における豚肉の仕入量は258万1千tで、国内産が136万7千t、輸入が121万5千tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れが仕入量全体の49.2%（国内産19.9%、輸入29.3%）と最も高く、次いで農協・経済連等からが23.2%となっている。

また、仕入量全体の52.9%を占める国内産についてみると、農協・経済連等からの仕入れが仕入量全体の23.2%と最も高く、次いでその他の卸売業からが17.5%となっている。

一方、輸入についてみると、自社直接輸入による仕入れが仕入量全体の16.8%と最も高く、次いで輸入商社からが16.0%となっている。

図14 食品卸売業における豚肉の仕入先別仕入量割合



注：1 () 内は、食品卸売業の豚肉総仕入量（国内産＋輸入）に対する割合である。
2 図表中、「国」は国内産、「輸」は輸入のことである。

(2) 牛肉

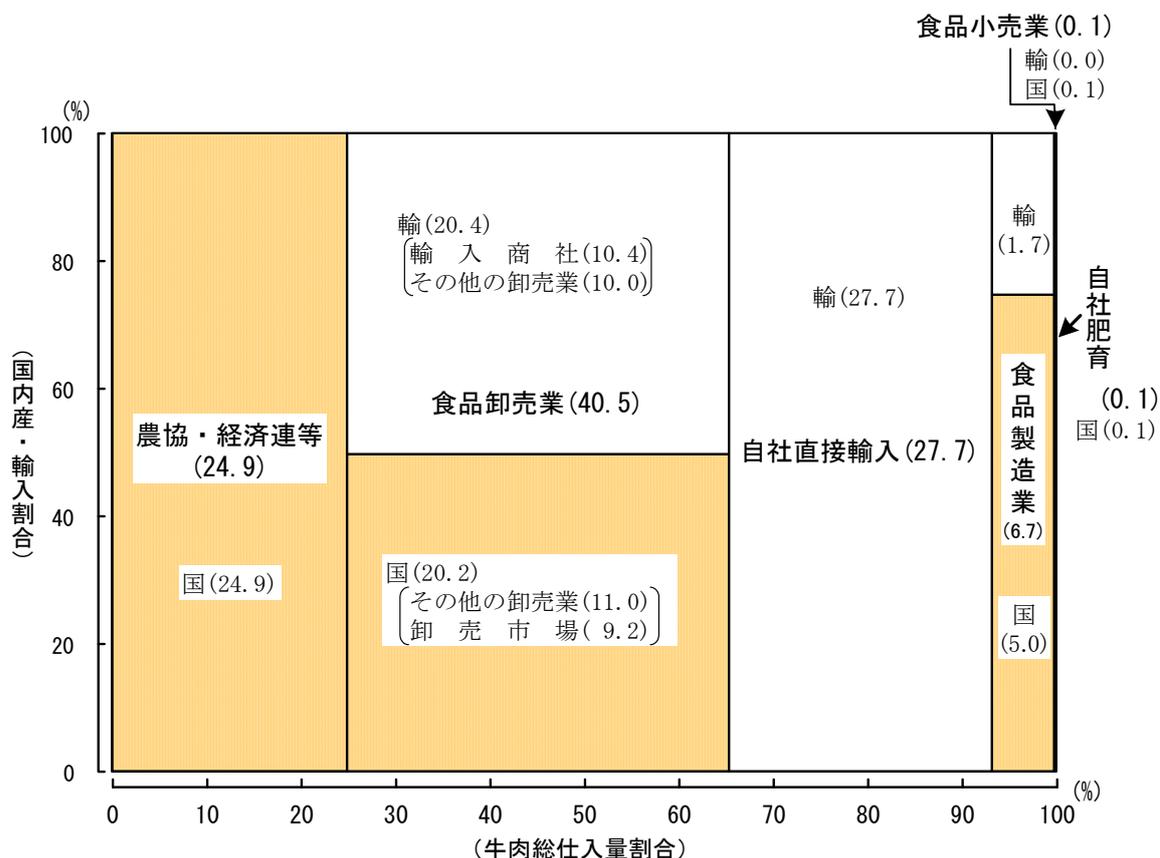
食品卸売業における牛肉の仕入量は145万1千tで、国内産が72万8千t、輸入が72万2千tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れが仕入量全体の40.5%（国内産20.2%、輸入20.4%）と最も高く、次いで自社直接輸入による仕入れが27.7%、農協・経済連等からが24.9%となっている。

また、仕入量全体の50.2%を占める国内産についてみると、農協・経済連等からの仕入れが仕入量全体の24.9%と最も高く、次いでその他の卸売業からが11.0%となっている。

一方、輸入についてみると、自社直接輸入による仕入れが仕入量全体の27.7%と最も高く、次いで輸入商社からが10.4%となっている。

図15 食品卸売業における牛肉の仕入先別仕入量割合



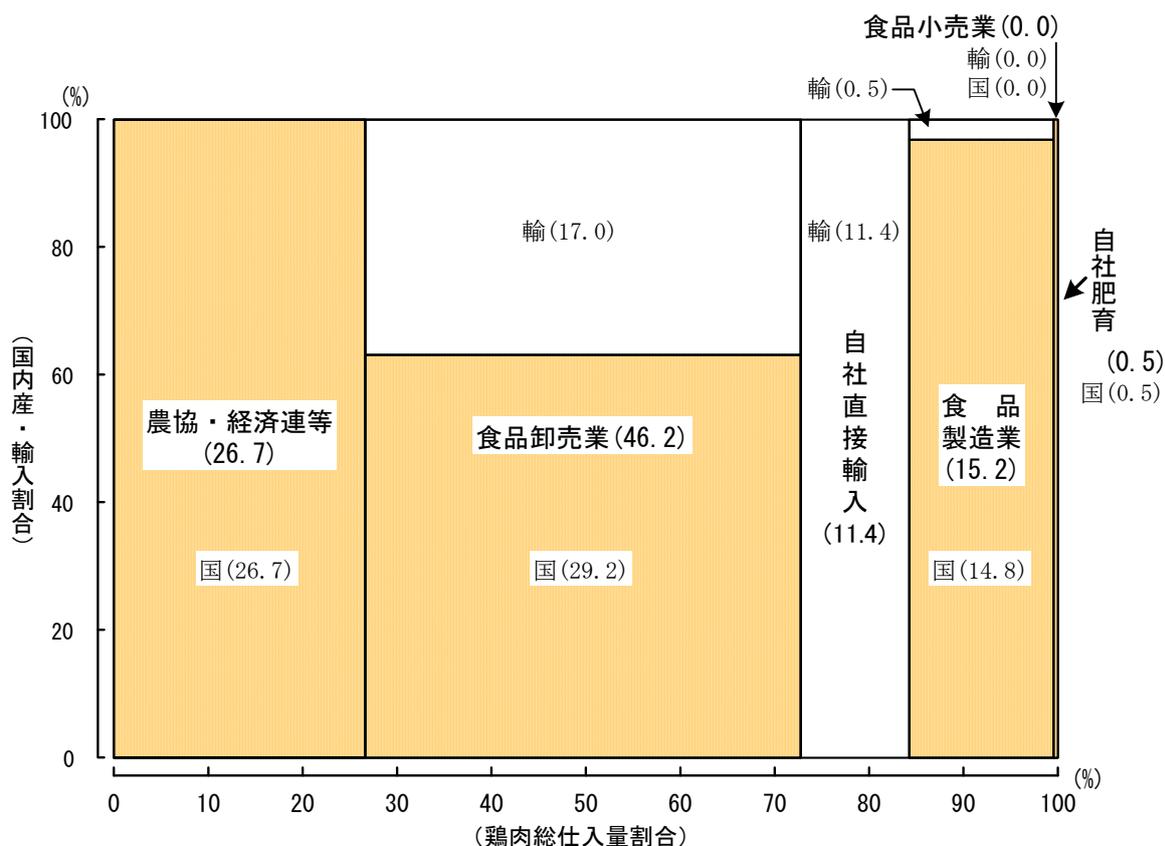
注：1 () 内は、食品卸売業の牛肉総仕入量（国内産＋輸入）に対する割合である。
 2 図表中、「国」は国内産、「輸」は輸入のことである。

(3) 鶏肉

食品卸売業における鶏肉の仕入量は200万8千tで、国内産が142万8千t、輸入が58万1千tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れが仕入量全体の46.2%（国内産29.2%、輸入17.0%）と最も高く、次いで農協・経済連等からが26.7%、食品製造業からが15.2%（国内産14.8%、輸入0.5%）となっている。

図16 食品卸売業における鶏肉の仕入先別仕入量割合



注：1 () 内は、食品卸売業の鶏肉総仕入量（国内産+輸入）に対する割合である。

2 図表中、「国」は国内産、「輸」は輸入のことである。

8 畜産物の仕入先別仕入事業所数割合

(1) 豚肉

ア 豚肉の仕入先別事業所数割合をみると、国内産では食品製造業、食品卸売業及び食品小売業においてその他の卸売業から仕入れている事業所数割合が最も高く、それぞれ49.7%、60.2%、55.8%となっている。

また、外食産業では食品小売業から仕入れている事業所数割合が63.1%と最も高くなっている。

一方、輸入では、全ての業種においてその他の卸売業から仕入れている事業所数割合が最も高く、食品製造業で58.2%、食品卸売業で77.0%、食品小売業で75.9%、外食産業で49.7%となっている。

表13 豚肉の仕入先別仕入事業所数割合

単位：%

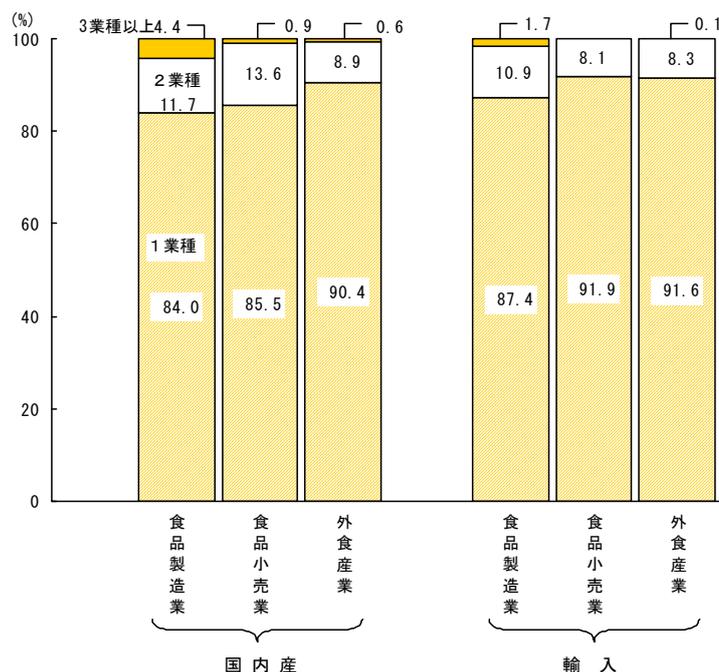
業種	農協・ 経済連等	食品卸売業			自社直接 輸入	食品 製造業	食品 小売業	自社肥育	
		卸売市場	その他の 卸売業	輸入商社					
国内産	食品製造業	15.2	16.7	49.7	…	-	23.4	14.9	0.6
	食品卸売業	25.5	27.4	60.2	…	-	16.4	3.6	-
	食品小売業	15.8	16.5	55.8	…	-	15.4	11.7	0.3
	外食産業	2.5	10.1	27.1	…	-	7.4	63.1	-
輸入	食品製造業	-	…	58.2	15.6	5.3	24.8	10.4	-
	食品卸売業	-	…	77.0	21.2	7.7	12.6	0.7	-
	食品小売業	-	…	75.9	7.4	4.1	16.2	4.5	-
	外食産業	-	…	49.7	4.7	2.5	11.1	40.5	-

注：仕入先が複数ある事業所があるため、仕入先別事業所数割合の計は100%にならない（以下の表において同じ。）。

イ 豚肉の仕入業種数別仕入事業所数割合をみると、国内産では全ての業種において、1業種から仕入れている事業所数割合が最も高くなっている。

また、輸入においても、1業種から仕入れている事業所数割合が最も高く、全体の約9割を占めている。

図17 豚肉の仕入業種数別仕入事業所数割合



(2) 牛肉

ア 牛肉の仕入先別事業所数割合をみると、国内産では食品製造業、食品卸売業及び食品小売業においてその他の卸売業から仕入れている事業所数割合が最も高く、それぞれ51.8%、58.0%、56.3%となっている。

また、外食産業では食品小売業から仕入れている事業所数割合が60.6%と最も高くなっている。

一方、輸入では、全ての業種においてその他の卸売業から仕入れている事業所数割合が最も高く、食品製造業で59.5%、食品卸売業で76.2%、食品小売業で74.4%、外食産業で47.8%となっている。

表14 牛肉の仕入先別仕入事業所数割合

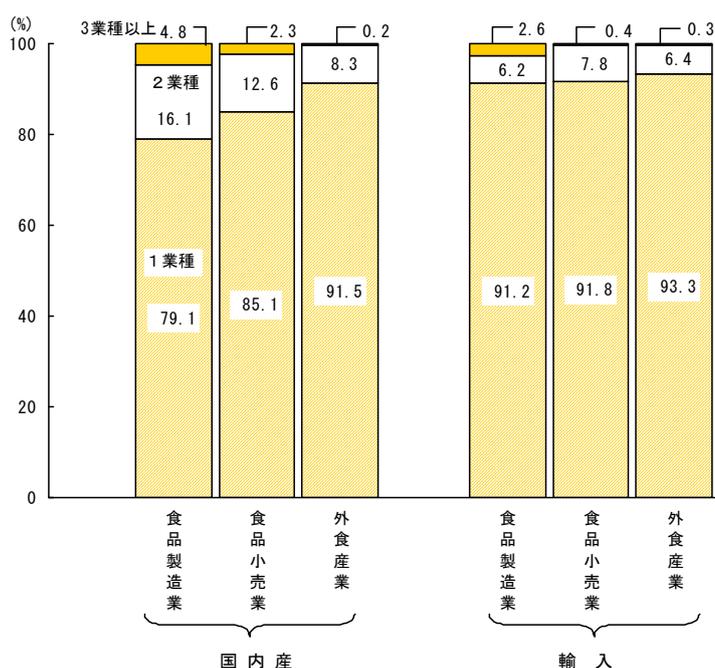
単位：%

業 種	農協・ 経済連等	食 品 卸 売 業			自社直接 輸 入	食 品 製 造 業	食 品 小 売 業	自社肥育	
		卸売市場	その他の 卸 売 業	輸入商社					
国内産	食 品 製 造 業	19.6	16.4	51.8	…	—	25.2	12.0	1.2
	食 品 卸 売 業	25.2	31.8	58.0	…	—	15.7	3.7	0.4
	食 品 小 売 業	16.5	17.4	56.3	…	—	15.4	11.3	0.4
	外 食 産 業	2.4	10.3	27.6	…	—	7.6	60.6	0.2
輸 入	食 品 製 造 業	—	…	59.5	11.5	5.2	22.8	12.4	—
	食 品 卸 売 業	—	…	76.2	20.5	8.2	12.1	2.0	—
	食 品 小 売 業	—	…	74.4	6.1	6.1	17.8	4.1	—
	外 食 産 業	—	…	47.8	5.0	1.6	9.5	43.2	—

イ 牛肉の仕入業種数別仕入事業所数割合をみると、国内産では全ての業種において、1業種から仕入れている事業所数割合が最も高くなっているものの、食品製造業において、複数業種(2業種及び3業種以上)から仕入れている事業所数割合がやや高くなっている。

また、輸入では、1業種から仕入れている事業所数割合が最も高く、全体の約9割を占めている。

図18 牛肉の仕入業種数別仕入事業所数割合



(3) 鶏肉

ア 鶏肉の仕入先別事業所数割合をみると、国内産では食品製造業、食品卸売業及び食品小売業においては食品卸売業から仕入れている事業所数割合が最も高く、それぞれ55.0%、77.4%、69.2%となっている。

また、外食産業では食品小売業から仕入れている事業所数割合が56.2%と最も高くなっている。

一方、輸入では、全ての業種において食品卸売業から仕入れている事業所数割合が最も高く、食品製造業で79.3%、食品卸売業で97.3%、食品小売業で82.9%、外食産業で55.8%となっている。

表15 鶏肉の仕入先別仕入事業所数割合

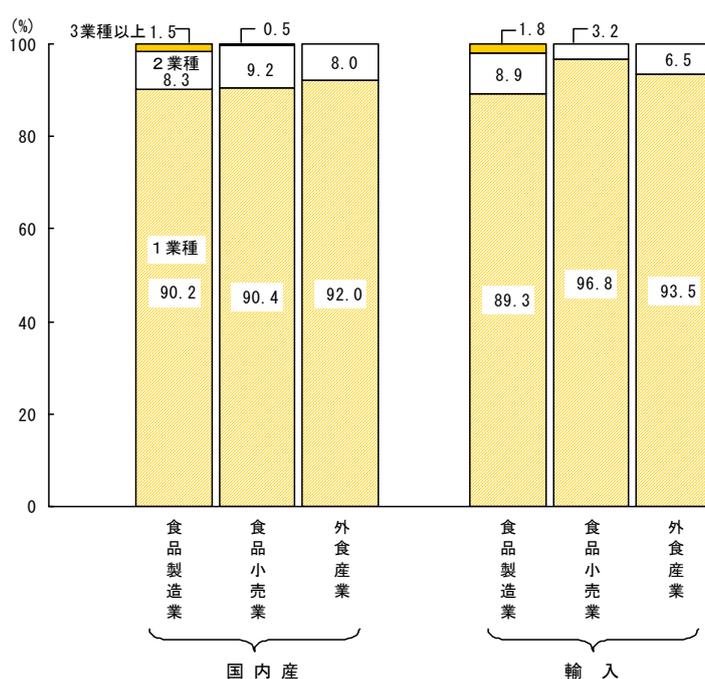
単位：%

業 種		農協・ 経済連等	食 品 卸売業	自社直接 輸 入	食 品 製造業	食 品 小売業	自社肥育
国内産	食 品 製 造 業	20.1	55.0	-	21.7	13.6	0.8
	食 品 卸 売 業	16.0	77.4	-	21.5	3.0	0.4
	食 品 小 売 業	13.3	69.2	-	16.8	10.5	0.3
	外 食 産 業	2.7	38.8	-	10.2	56.2	0.1
輸 入	食 品 製 造 業	-	79.3	3.0	18.4	12.4	-
	食 品 卸 売 業	-	97.3	6.8	8.0	0.8	-
	食 品 小 売 業	-	82.9	3.1	13.4	3.8	-
	外 食 産 業	-	55.8	3.1	7.9	39.7	-

図19 鶏肉の仕入業種数別仕入事業所数割合

イ 鶏肉の仕入業種数別仕入事業所数割合をみると、国内産では全ての業種において、1業種から仕入れている事業所数割合が最も高くなっている。

また輸入においても、1業種から仕入れている事業所数割合が最も高く、特に、食品小売業において96.8%と高い割合となっている。



(4) 輸入一次加工原料畜産物（豚肉、牛肉及び鶏肉）

ア 輸入一次加工原料畜産物（豚肉、牛肉及び鶏肉）の仕入先別事業所数割合をみると、食品製造業においてはその他の卸売業から仕入れている事業所数割合が52.1%と最も高く、次いで同業種である食品製造業が31.1%となっている。

一方、外食産業においては、その他の卸売業から仕入れている事業所数割合が42.6%と最も高く、次いで食品小売業が30.3%となっている。

表16 輸入一次加工原料畜産物の仕入先別仕入事業所数割合

単位：%

業 種	自社直接 輸 入	食 品 卸 売 業		食 品 製 造 業	食 品 小 売 業
		輸入商社	その他の 卸 売 業		
食 品 製 造 業	4.4	14.9	52.1	31.1	8.8
外 食 産 業	7.1	8.4	42.6	21.4	30.3

イ 輸入一次加工原料畜産物（豚肉、牛肉及び鶏肉）の仕入業種数別仕入事業所数割合をみると、食品製造業及び外食産業ともに、1業種から仕入れた事業所数割合が最も高く、それぞれ91.2%、90.4%となっている。

図20 輸入一次加工原料畜産物の仕入業種数別仕入事業所数割合

